

第2次古賀市環境基本計画中間見直し「環境に関する市民アンケート」

集計及び分析について

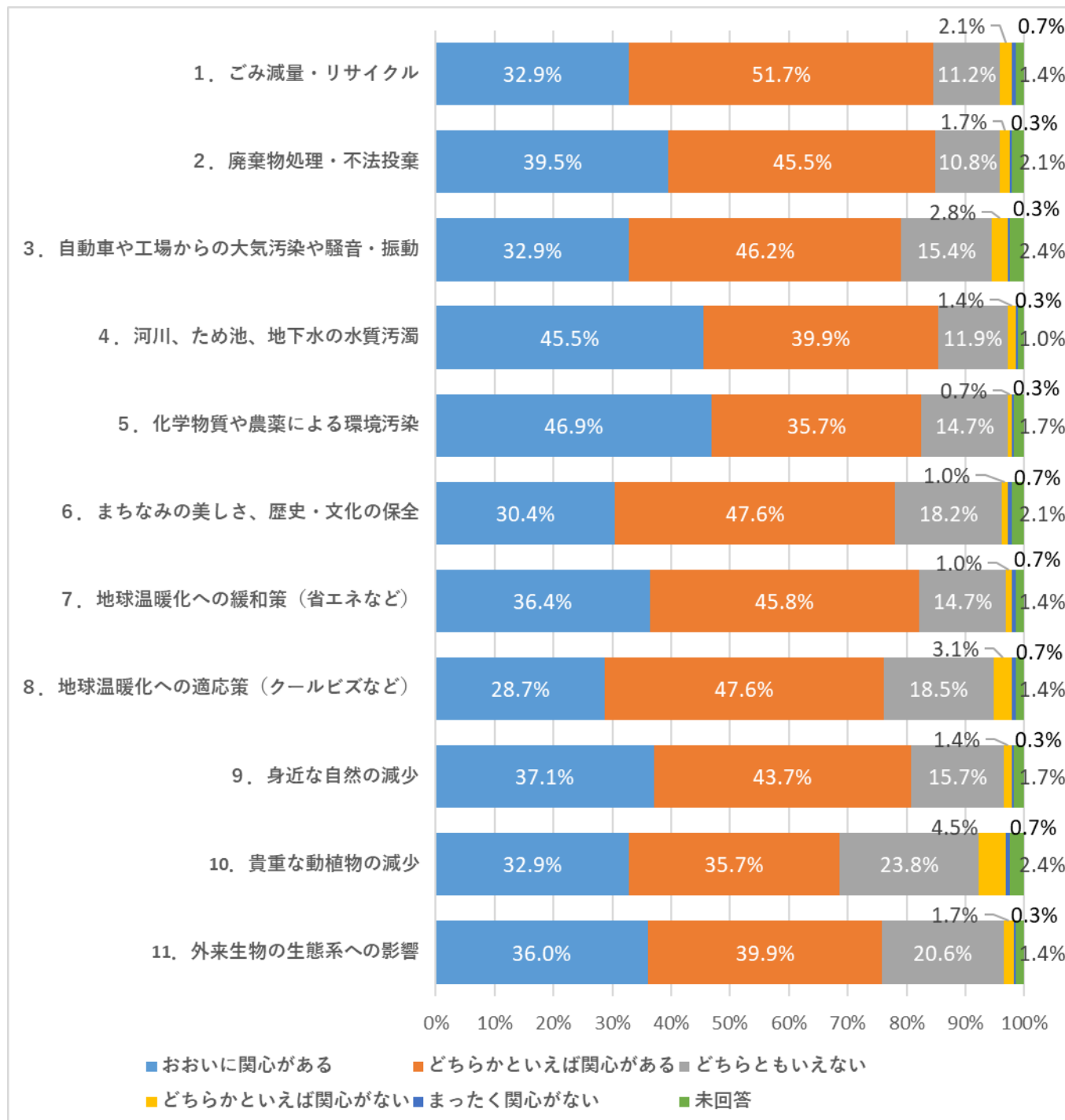
(1) 調査の実施状況

市民アンケート調査は、以下の要領で実施した。

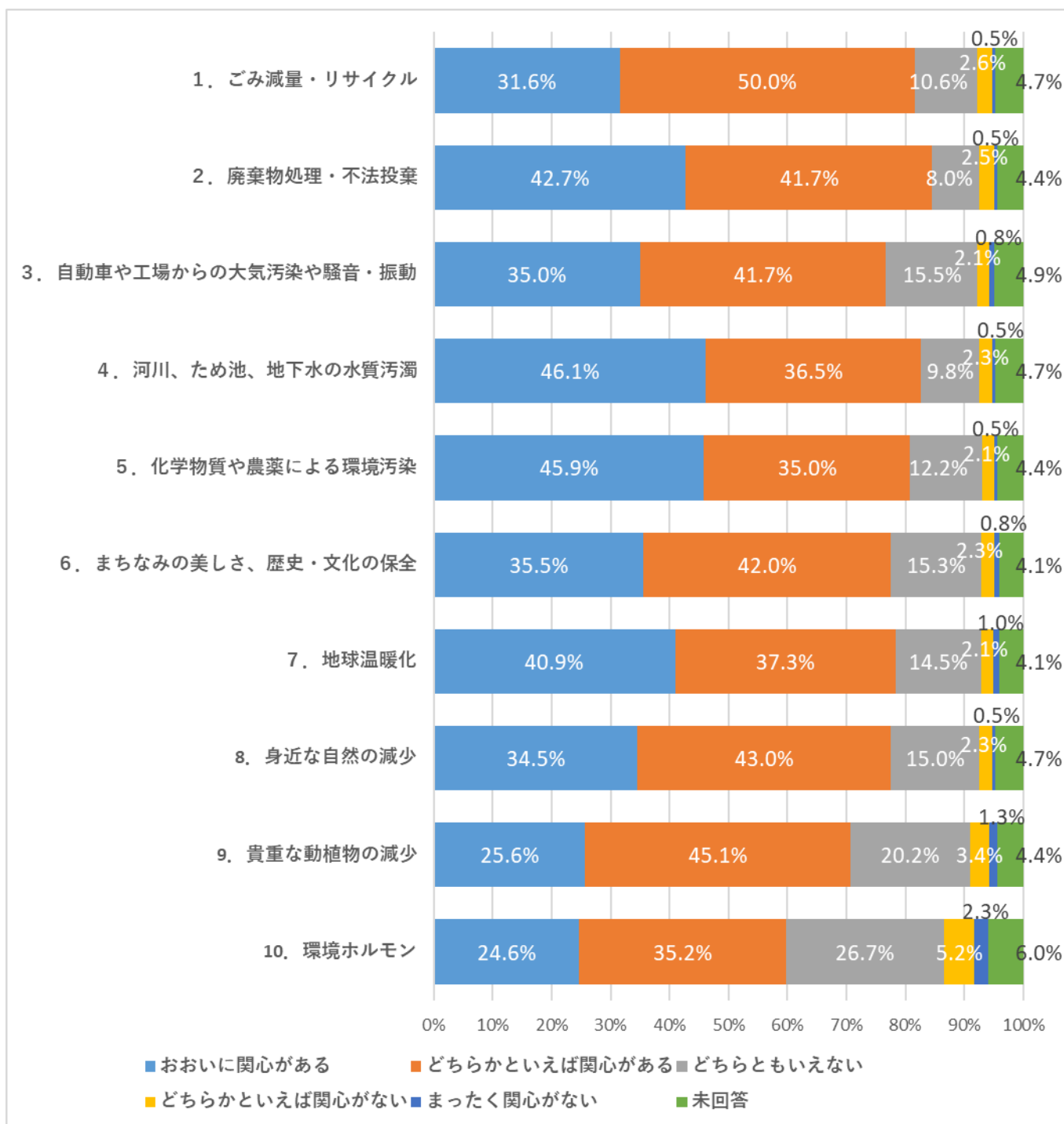
調査期間	平成29年9月20日送付 平成29年11月14日回収〆切
調査方法	郵送法
調査対象	1,000人
対象者抽出方法	無作為抽出
回収数	286サンプル
有効回収数	286サンプル
有効回収率	28.6%

(1) 調査結果及び分析

問1 あなたは次にあげる環境問題にどのくらい関心がありますか？



(参考) 前回 (平成 24 年 9 月 20 日) のアンケート結果



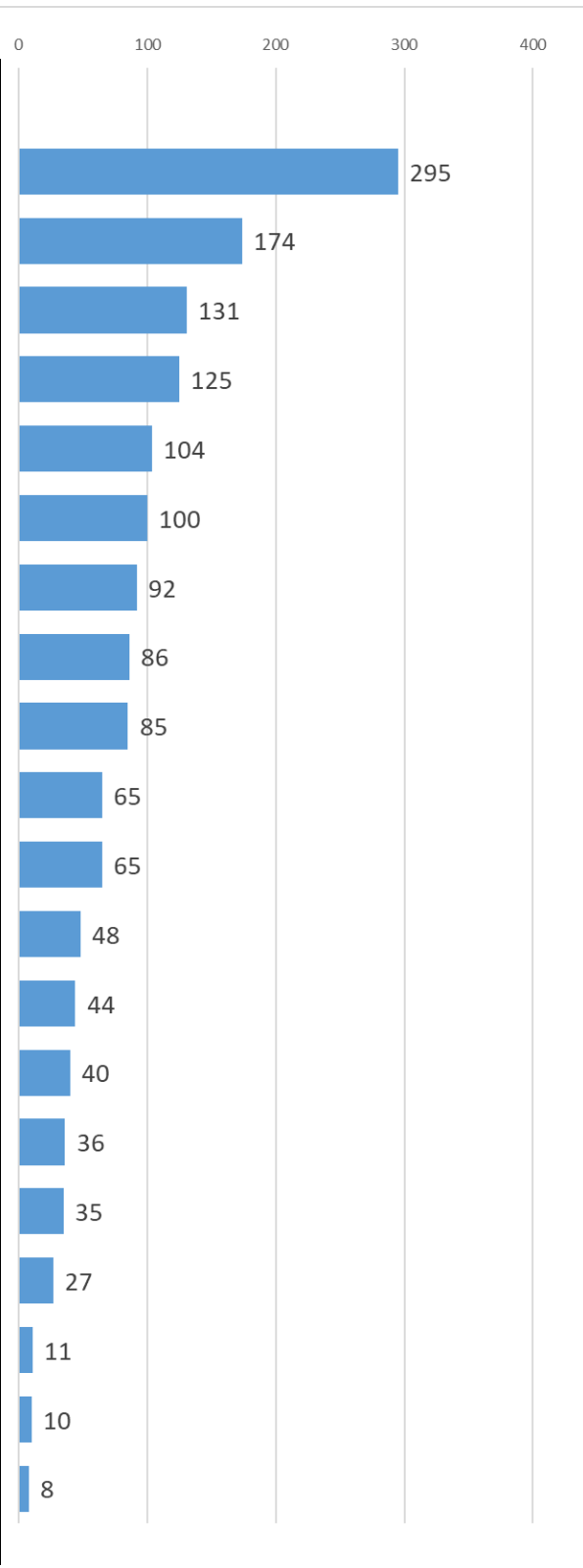
考察)

「おおいに関心がある」「どちらかといえば関心がある」の数値を前回アンケートと比較してみると、大きな変動はないものの、「貴重な動植物の減少」以外は軒並み上昇（「地球温暖化への適応策（クールビズなど）」は比較対象なし）しており、「貴重な動植物の減少」についても「おおいに関心がある」は大きく上昇していることから、環境への関心が高まっていることが分かる。

問2 お住まいの身近な環境の中で、特にすぐれていて、将来も守っていききたいものを3つ、お住まいの身近な環境を良くするために、特に改善が必要なものを3つ、それぞれ選んで、上位順に下の回答欄に番号を記入してください。

【特にすぐれていて、将来守っていききたいもの】

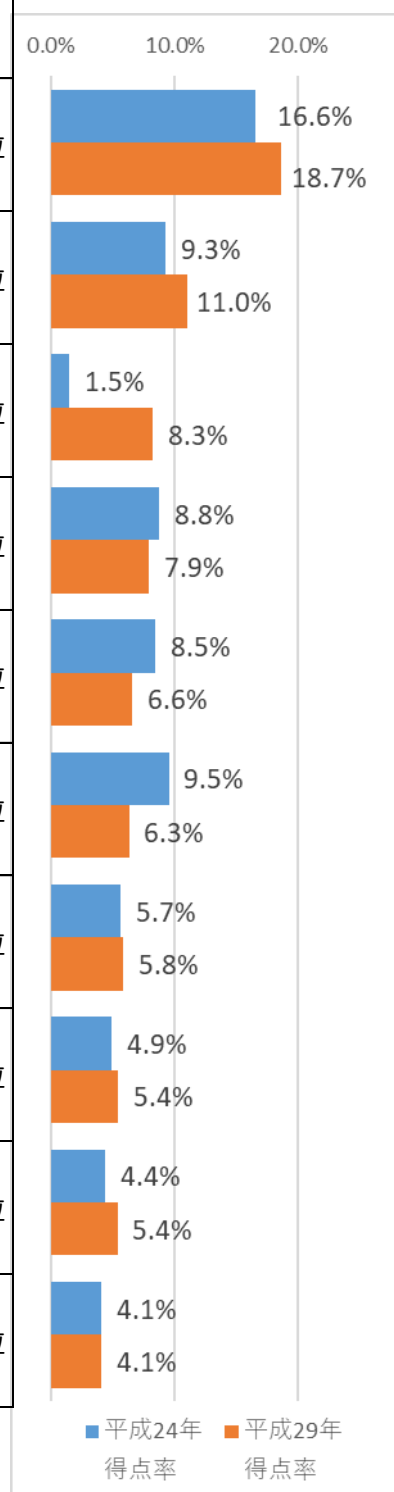
順位	選択肢	件数			得点換算
		1位	2位	3位	
1位	1. 自然景観	86	12	13	295
2位	4. 周辺の静けさ	33	29	17	174
3位	6. 日当たりのよさ	23	20	22	131
4位	2. 水道水の水質	28	17	7	125
5位	12. 空気のきれいさ	12	18	32	104
6位	7. 山の自然	13	21	19	100
7位	5. 清掃やごみ処理	14	18	14	92
8位	17. 身近な緑とのふれあい	7	18	29	86
9位	15. 公園、野外レクリエーション施設	10	16	23	85
10位	3. 井戸水の水質	13	10	6	65
11位	10. 川や池の水のきれいさ	5	21	8	65
12位	9. リサイクルの機会	4	13	10	48
13位	14. 市民の環境に関するモラル（道徳）	4	12	8	44
14位	8. まち並み景観	5	8	9	40
15位	16. 野鳥や昆虫等の生き物とのふれあい	5	7	7	36
16位	13. 川や池の水や水辺とのふれあい	3	10	6	35
17位	20. 文化財、遺跡等の保存、整備	3	4	10	27
18位	11. 歴史的雰囲気	0	3	5	11
19位	18. 省エネルギーの情報提供等	0	2	6	10
20位	19. 環境保全活動への参加・機会	1	1	3	8
	未回答	17	26	32	



※回答に関して、1位=3点、2位=2点、3位=1点と点数付けをし、合計点数により順位を決定

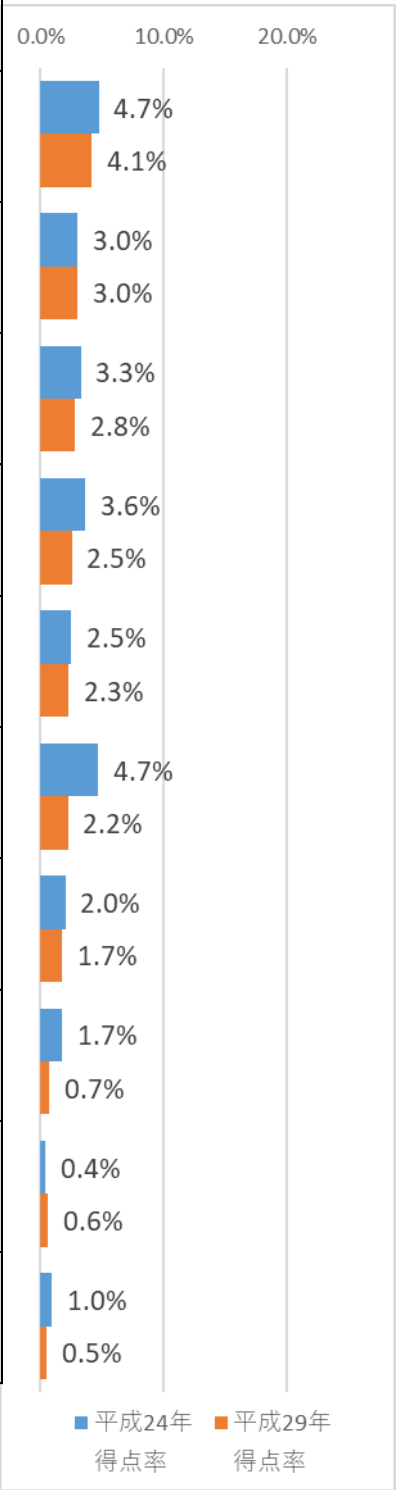
(参考) 前回 (平成 24 年 9 月 20 日) のアンケート結果との比較

選択肢	件数			平成29年 順位	平成24年 順位
	1位	2位	3位		
1. 自然景観	86	12	13	1位	1位
4. 周辺の静けさ	33	29	17	2位	3位
6. 日当たりのよさ (H24は「日照阻害」)	23	20	22	3位	18位
2. 水道水の水質	28	17	7	4位	4位
12. 空気のきれいさ	12	18	32	5位	5位
7. 山の自然	13	21	19	6位	2位
5. 清掃やごみ処理	14	18	14	7位	6位
17. 身近な緑とのふれあい	7	18	29	8位	7位
15. 公園、野外レクリエーション施設	10	16	23	9位	10位
3. 井戸水の水質	13	10	6	10位	11位



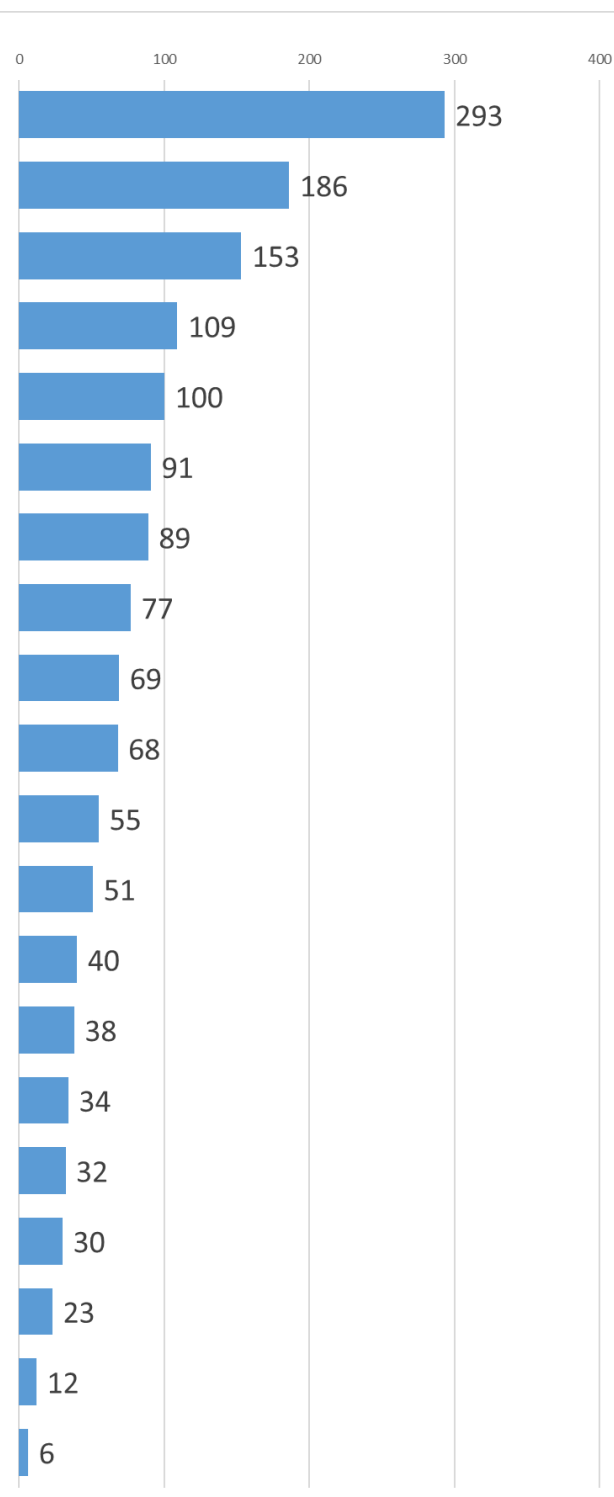
※回答に関して、1位=3点、2位=2点、3位=1点と点数付けをし、
合計点数により順位・得点率を決定

選択肢	件数			平成29年 順位	平成24年 順位
	1位	2位	3位		
10. 川や池の水のきれいさ	5	21	8	11位	8位
9. リサイクルの機会	4	13	10	12位	14位
14. 市民の環境に関するモラル（道徳）	4	12	8	13位	13位
8. まち並み景観	5	8	9	14位	12位
16. 野鳥や昆虫等の生き物とのふれあい	5	7	7	15位	15位
13. 川や池の水や水辺とのふれあい	3	10	6	16位	9位
20. 文化財、遺跡等の保存、整備	3	4	10	17位	16位
11. 歴史的雰囲気	0	3	5	18位	17位
18. 省エネルギーの情報提供等	0	2	6	19位	20位
19. 環境保全活動への参加・機会	1	1	3	20位	19位



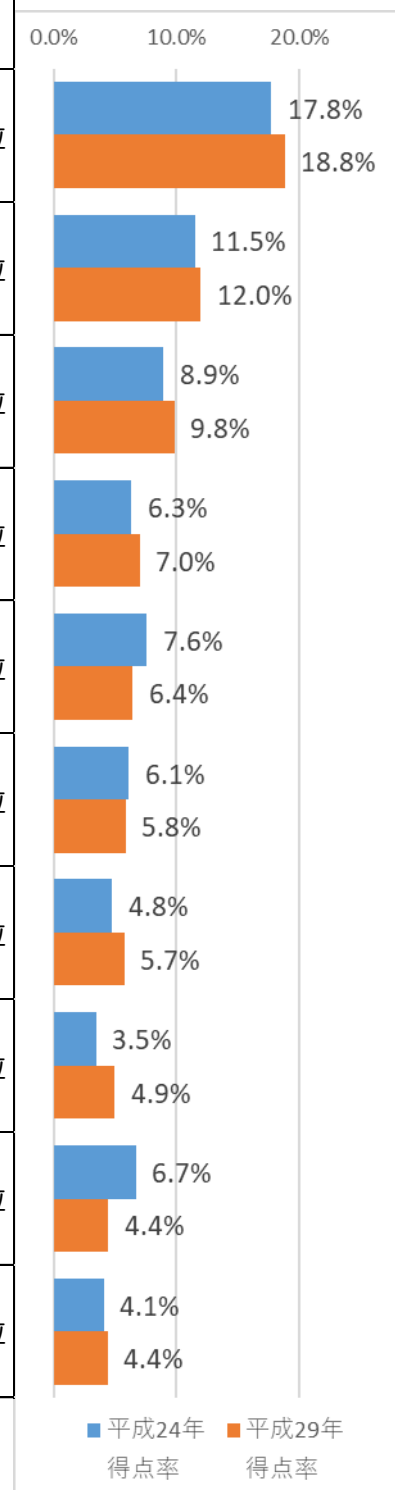
【特に改善が必要なもの】

順位	選択肢	件数			減点換算
		1位	2位	3位	
1位	14. 市民の環境に関するモラル（道徳）	64	33	34	293
2位	10. 川や池の水のきれいさ	37	31	12	186
3位	5. 清掃やごみ処理	30	21	20	153
4位	8. まち並み景観	20	17	14	109
5位	15. 公園、野外レクリエーション施設	13	21	18	100
6位	18. 省エネルギーの情報提供等	9	17	29	91
7位	9. リサイクルの機会	10	21	16	89
8位	12. 空気のきれいさ	17	7	11	77
9位	2. 水道水の水質	14	11	4	69
10位	19. 環境保全活動への参加・機会	4	16	23	68
11位	13. 川や池の水や水辺とのふれあい	6	14	8	55
12位	20. 文化財、遺跡等の保存、整備	6	10	12	51
13位	17. 身近な緑とのふれあい	2	9	15	40
14位	1. 自然景観	10	3	1	38
15位	3. 井戸水の水質	8	3	3	34
16位	4. 周辺の静けさ	5	6	4	32
17位	7. 山の自然	5	5	4	30
18位	16. 野鳥や昆虫等の生き物とのふれあい	2	5	6	23
19位	11. 歴史的雰囲気	0	1	9	12
20位	6. 日当たりのよさ	0	2	1	6
	未回答	24	33	42	

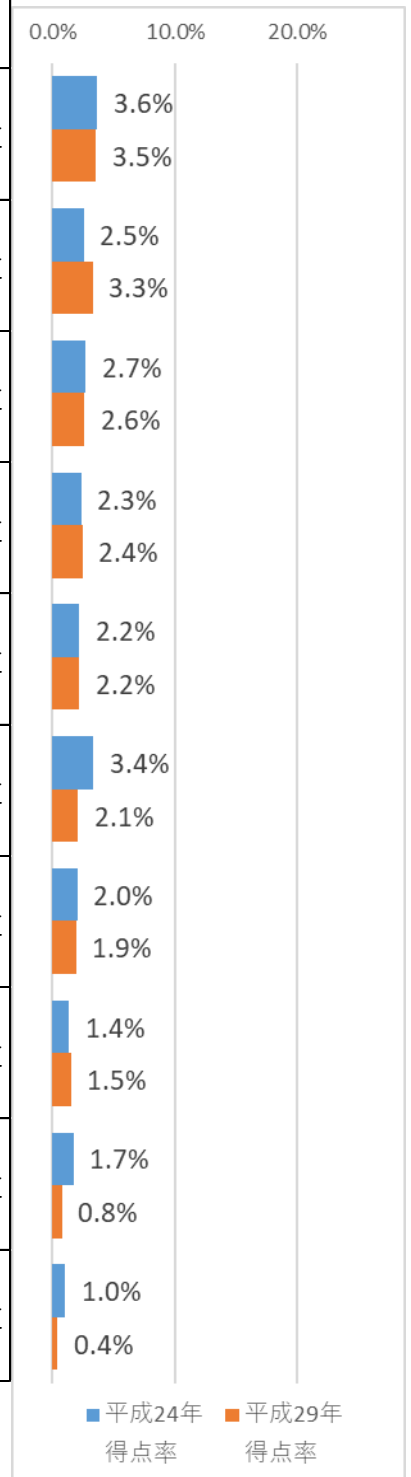


(参考) 前回 (平成 24 年 9 月 20 日) のアンケート結果との比較

選択肢	件数			平成29年 順位	平成24年 順位
	1位	2位	3位		
14. 市民の環境に関するモラル (道徳)	64	33	34	1位	1位
10. 川や池の水のきれいさ	37	31	12	2位	2位
5. 清掃やごみ処理	30	21	20	3位	3位
8. まち並み景観	20	17	14	4位	6位
15. 公園、野外レクリエーション施設	13	21	18	5位	4位
18. 省エネルギーの情報提供等	9	17	29	6位	7位
9. リサイクルの機会	10	21	16	7位	8位
12. 空気のきれいさ	17	7	11	8位	11位
2. 水道水の水質	14	11	4	9位	5位
19. 環境保全活動への参加・機会	4	16	23	10位	9位



選択肢	件数			平成29年 順位	平成24年 順位
	1位	2位	3位		
13. 川や池の水や水 辺とのふれあい	6	14	8	11位	10位
20. 文化財、遺跡等 の保存、整備	6	10	12	12位	14位
17. 身近な緑とのふ れあい	2	9	15	13位	13位
1. 自然景観	10	3	1	14位	15位
3. 井戸水の水質	8	3	3	15位	16位
4. 周辺の静けさ	5	6	4	16位	12位
7. 山の自然	5	5	4	17位	17位
16. 野鳥や昆虫等の 生き物とのふれあい	2	5	6	18位	19位
11. 歴史的雰囲気	0	1	9	19位	18位
6. 日当たりのよさ	0	2	1	20位	20位



考察)

「特にすぐれていて、将来守っていききたいもの」に関しては、前回に引き続き「1. 自然景観」が大差をつけての1位となっており、市民にとって古賀市の自然の景観・風景といったものが誇りとなっていることが読み取れる。また「7. 山の自然」「12. 空気のきれいさ」などの自然環境、「4. 周辺の静けさ」「2. 水道水の水質」などの生活環境なども高く評価されている。

また、「特に改善が必要なもの」としては、前回・今回とも「14. 市民の環境に関するモラル（道徳）」「10. 川や池の水のきれいさ」「5. 清掃やごみ処理」が1～3位を占めており、さらに1位がかなりの大差をつけていることから、市民の環境に関する意識の向上が、引き続き大きな課題であることが読み取れる。

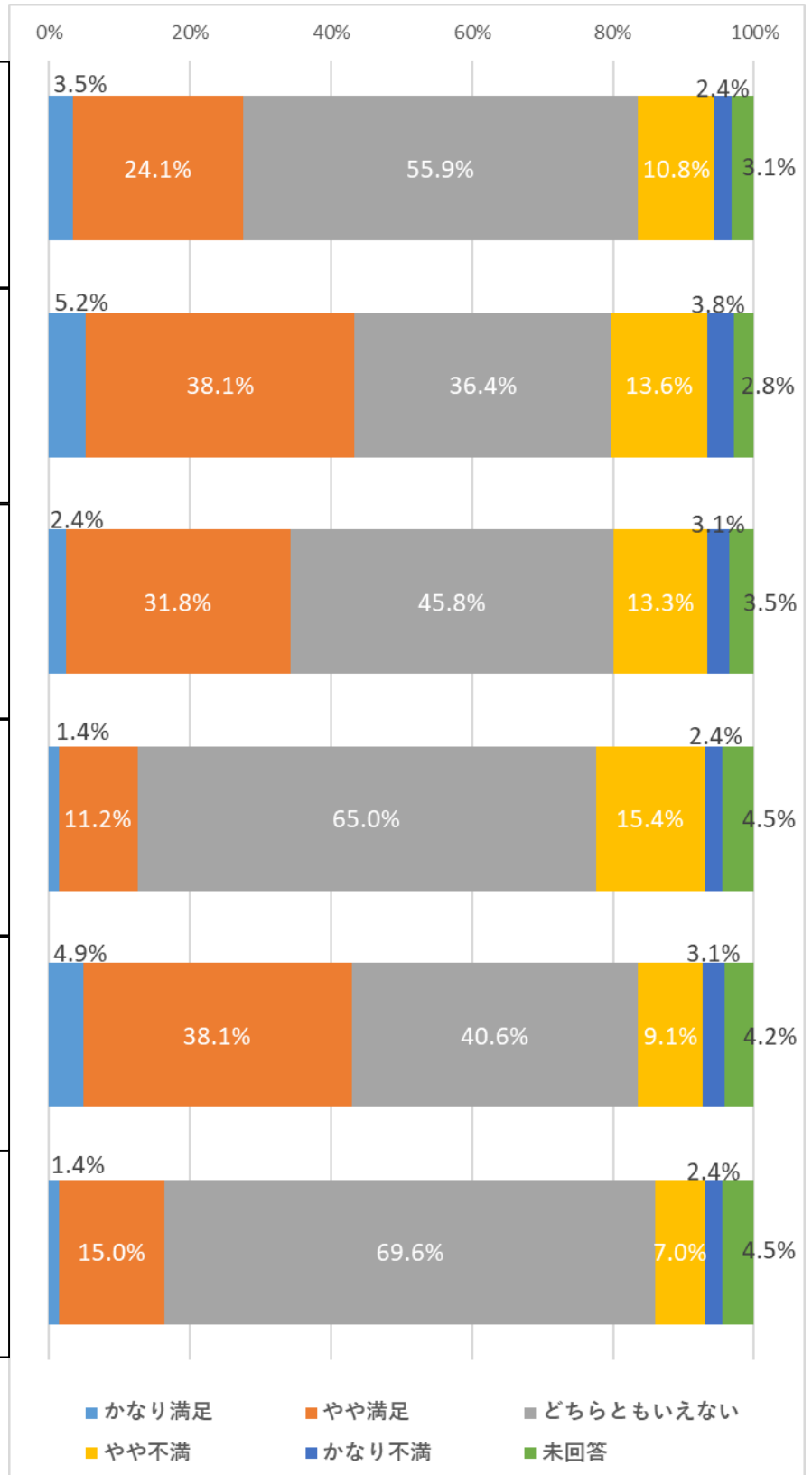
さらに、「18. 省エネルギーの情報提供等」「19. 環境保全活動への参加・機会」の2項目に関しては、前回・今回とも「特にすぐれている」では19、20位という最下位付近、かつ「改善が必要」では7～10位という上位に近い位置を占めていることから、環境に関する情報や活動へ参加する機会の提供に関して更なる努力が必要なが読み取れる。

問3 第二次環境基本計画では、「未来へ引き継ごう 人が自然と愉しく共生する環のまち こが」を環境像として、6つの環境目標を定め、取組を行ってきました。それぞれの取組について、満足度と重要度の欄のあてはまる番号に、それぞれ〇をつけてください。

(満足度について〇は1つ、重要度について〇は1つ)

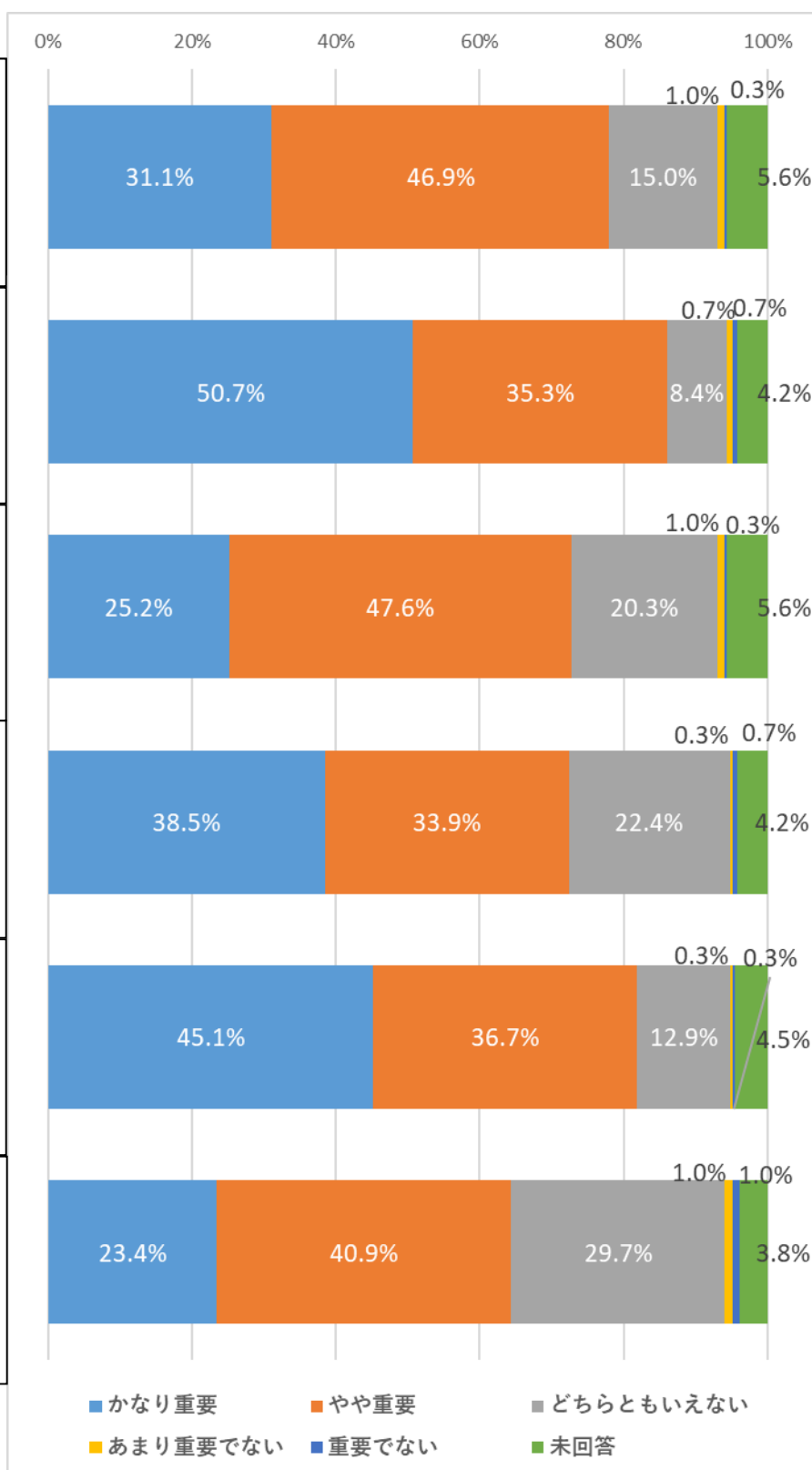
【満足度】

<p>(自然環境)</p> <p>●人と自然との「共生」 里山や森林、農地を守るとともに、自然とふれあう場を作り、人と自然が共生するまちをめざすこと</p>
<p>(生活環境)</p> <p>●「快適」で「安全」な住環境の確保 公害対策や下水道の整備を行い、快適で安全安心なまちをめざすこと</p>
<p>(都市環境)</p> <p>●緑・歴史・風景の「調和」 緑や歴史、風景が調和したまちをめざすこと</p>
<p>(地球環境)</p> <p>●「低炭素」社会の構築 地球温暖化を防止するため、省エネルギーや再生可能エネルギーを進め、低炭素型のまちをめざすこと</p>
<p>(資源循環)</p> <p>●「循環」型社会の構築 ごみの減量や資源のリサイクルを進め、循環型のまちをめざすこと</p>
<p>(環境意識と行動)</p> <p>●「共働」の環の拡大 環境について学んだり、活動したりする個人や団体を増やし、みんなで協力して環境にやさしいまちをめざすこと</p>



【重要度】

<p>(自然環境)</p> <p>●人と自然との「共生」 里山や森林、農地を守るとともに、自然とふれあう場を作り、人と自然が共生するまちをめざすこと</p>
<p>(生活環境)</p> <p>●「快適」で「安全」な住環境の確保 公害対策や下水道の整備を行い、快適で安全安心なまちをめざすこと</p>
<p>(都市環境)</p> <p>●緑・歴史・風景の「調和」 緑や歴史、風景が調和したまちをめざすこと</p>
<p>(地球環境)</p> <p>●「低炭素」社会の構築 地球温暖化を防止するため、省エネルギーや再生可能エネルギーを進め、低炭素型のまちをめざすこと</p>
<p>(資源循環)</p> <p>●「循環」型社会の構築 ごみの減量や資源のリサイクルを進め、循環型のまちをめざすこと</p>
<p>(環境意識と行動)</p> <p>●「共働」の環の拡大 環境について学んだり、活動したりする個人や団体を増やし、みんなで協力して環境にやさしいまちをめざすこと</p>



考察)

「満足度」については、全ての項目について、「かなり満足」「やや満足」の数値が過半数を下回っており、また、「どちらともいえない」の数値がかなり高く、特に「(環境意識と行動)」では7割以上を占める状態となっている。現在行っている取組について、なかなか市民に届いていないという現状がうかがえる。

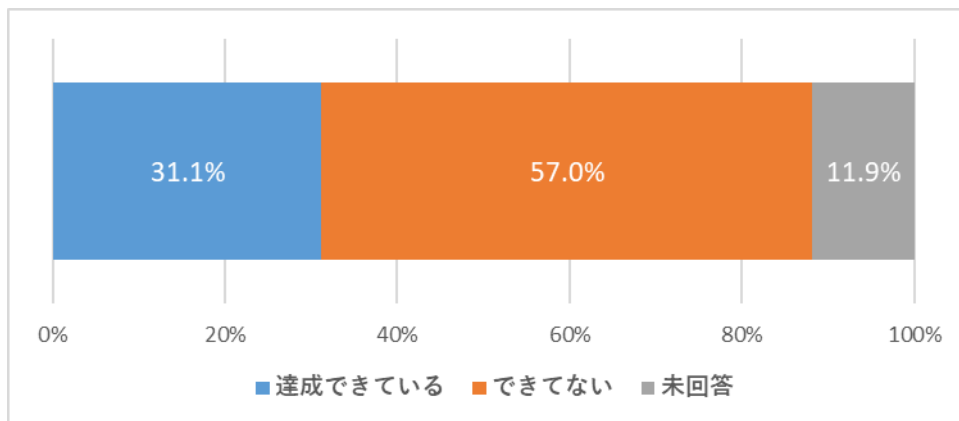
しかしながら「重要度」については、全ての項目で「かなり重要」「やや重要」と回答した人の割合が6割～9割とかなり高くなっている。また「あまり重要でない」「重要でない」と回答した人はどの項目も3%未満であり、「(生活環境)」の項目では1%を切っている。市民の環境問題に取り組むことは重要であるという認識はかなり高いと思われる。

全ての項目で「重要度」ではかなり高い認識を持ちながら、「満足度」があまり高くない現状を鑑みて、より一層取り組みを進めていくとともに、広く市民に認識をしてもらえる取組が重要になってくると思われる。

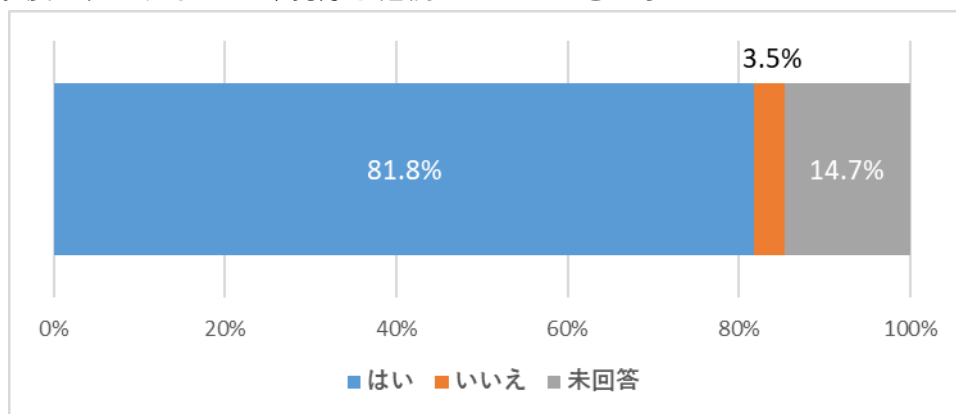
また一方では、「(生活環境)」と「(資源循環)」の項目で「満足度」が高くなっており、これらは市民が普通に生活していても行政の施策が見える項目である。低い項目については、行政の「働き」を市民にうまく伝えられていないとも推察できるため、市民に行政のしていることが伝わる工夫が必要だと思われる。

問4 第二次環境基本計画の環境像「未来へ引き継ごう 人が自然と愉しく共生する環のまち こが」について、お答えください。 (それぞれに○を1つ)

(1) 環境像は、達成できていると思いますか？



(2) 今後も、これまでの環境像を継続していくべきですか？



※いいえの場合

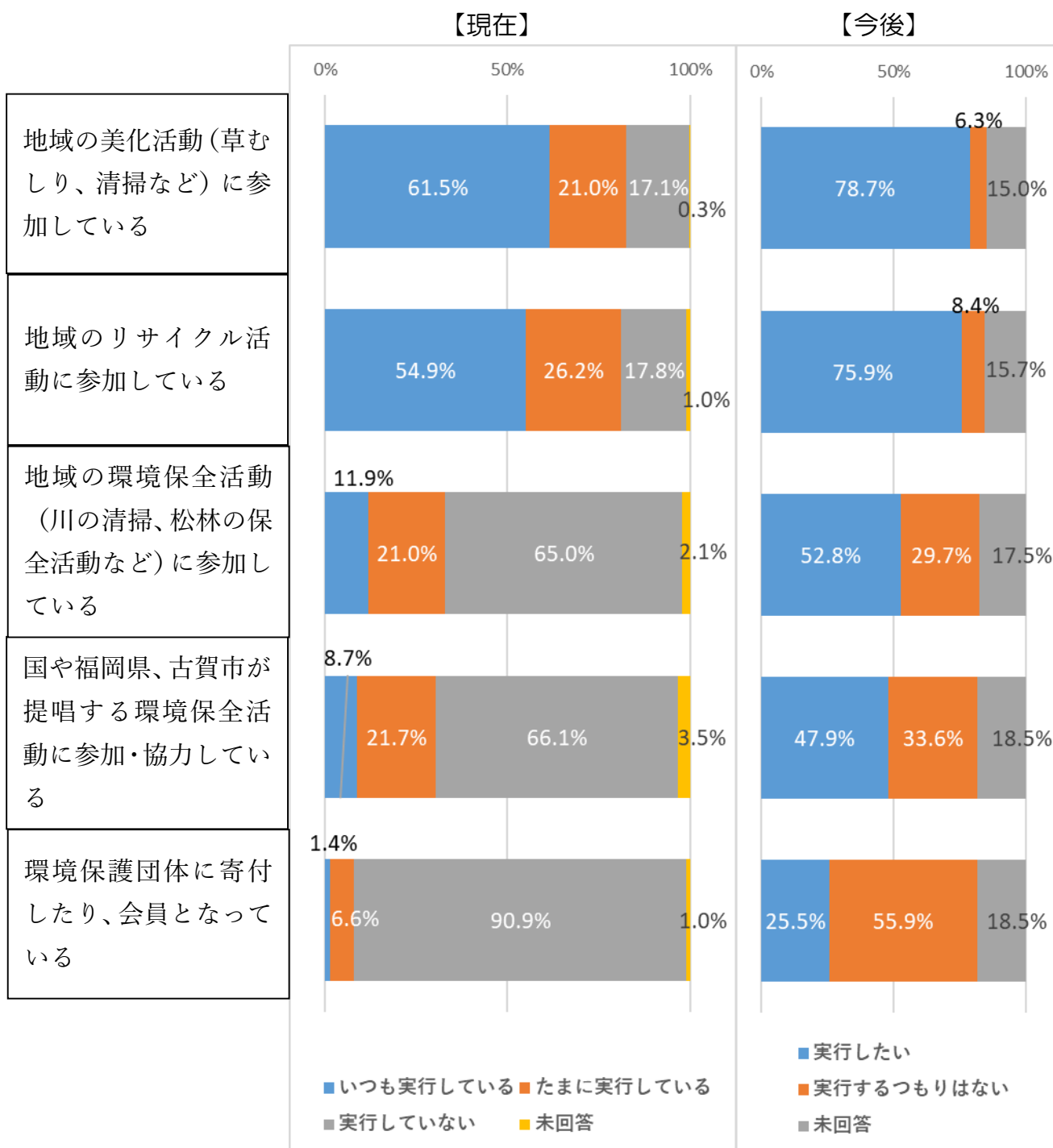
新しい環境像のキーワードを教えてください

- 美しい山、川、海 住みたくなる街 古賀
- ほこれるまち こが
- 目に見える環境改善環境美化
- 自然の保護と適切な管理
- 安心安全なまち／安心安全第一／安心、豊かな自然
- 個人・区域のモラル、自然の消滅への危機感、動物のエチケット
- 豊かな自然

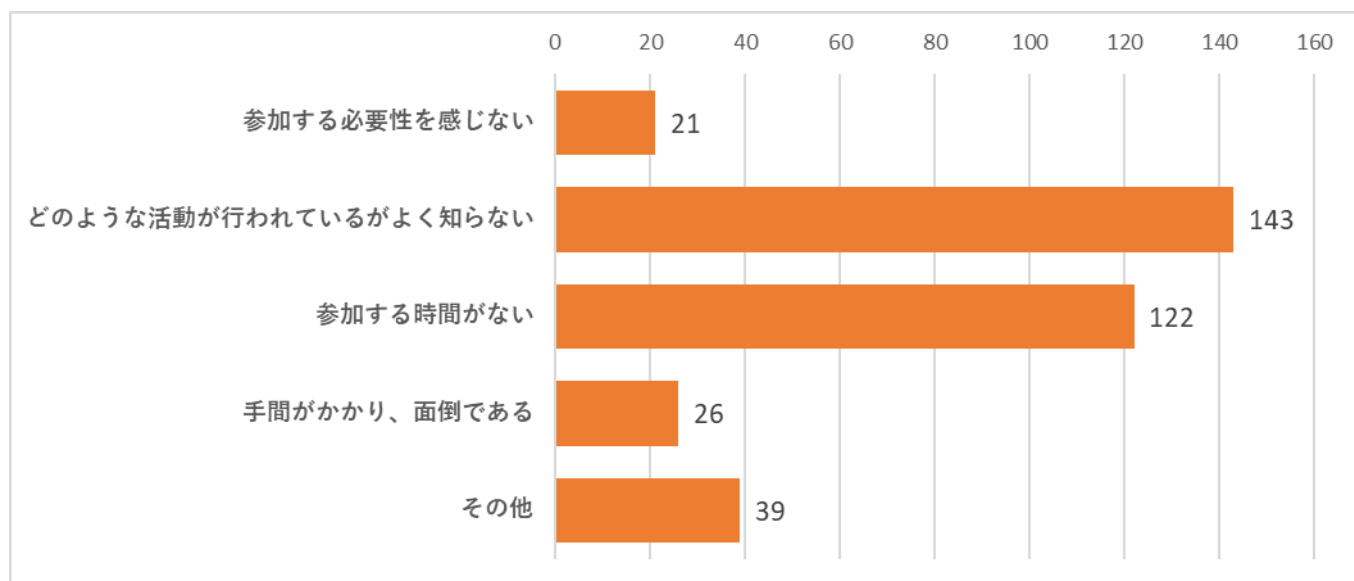
考察)

問3の「満足度」と同様に、環境像の達成については「達成できていない」という回答が過半数を超え、達成にはまだ遠い状況であることがうかがえる。しかしながら、環境像そのものについては8割を超える市民が「環境像を継続していくべきである」という回答をしており、環境像そのものについては、継続して進めていく方針をとることが望ましいと思われる。

問5 環境保全活動への参加を、日常的にどの程度実行していますか？また、今後の取組についても教えてください。（それぞれに○を1つ）



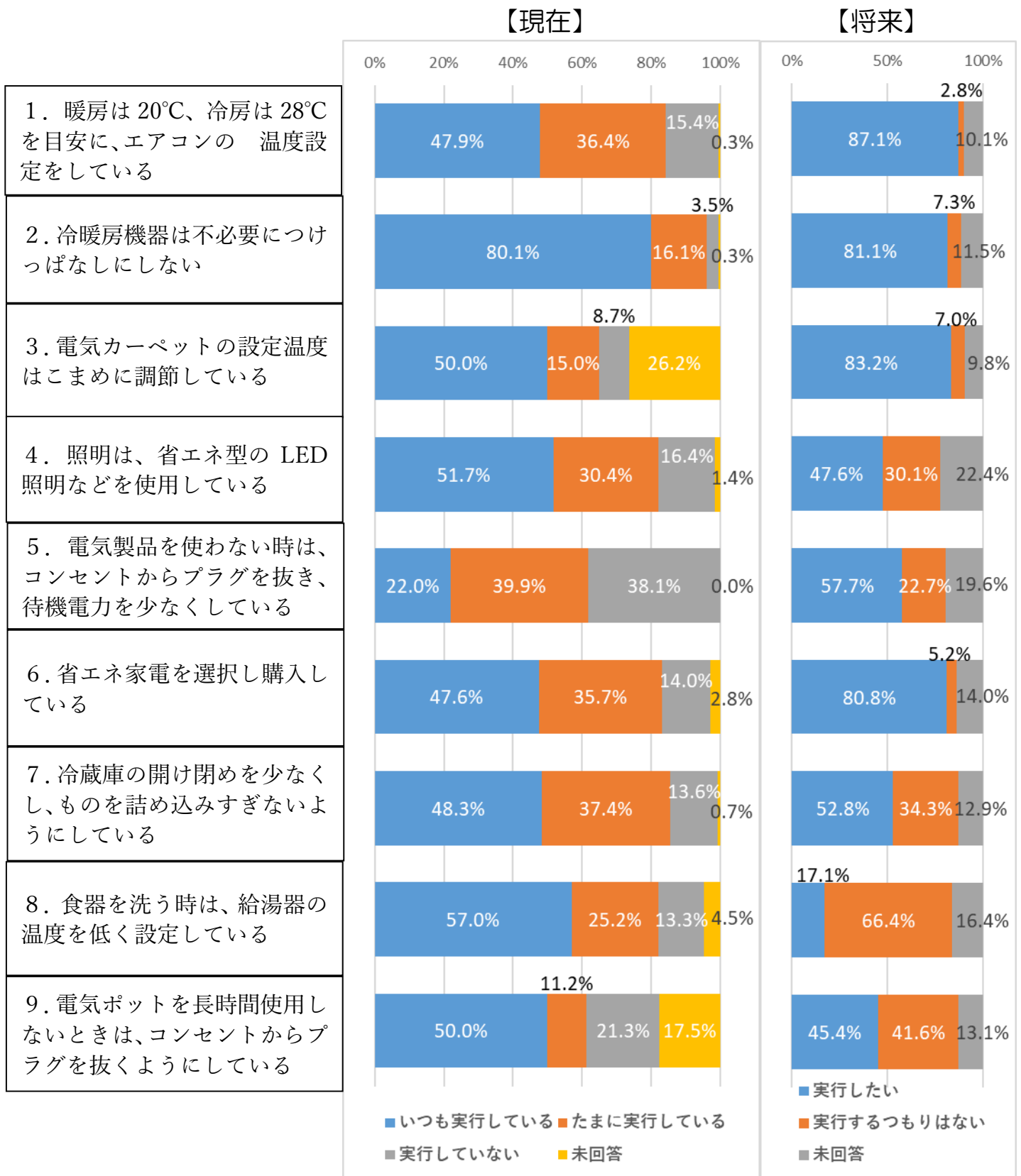
※上の1～5の設問で、「実行していない」に1つ以上お答えの場合、行動を行っていない理由は何ですか（〇はいくつでも）。



考察)

地域の美化活動・リサイクル活動については現在・将来ともに関心が高いものの、環境保全活動に関しては実行したいという思いはあるものの、なかなか実行できていない現状が分かる。また、参加しない理由として「どのような活動が行われているかよく知らない」「参加する時間がない」の2つが大勢を占めており、より参加しやすい体制づくりや広報活動などの強化が必要だと思われる。

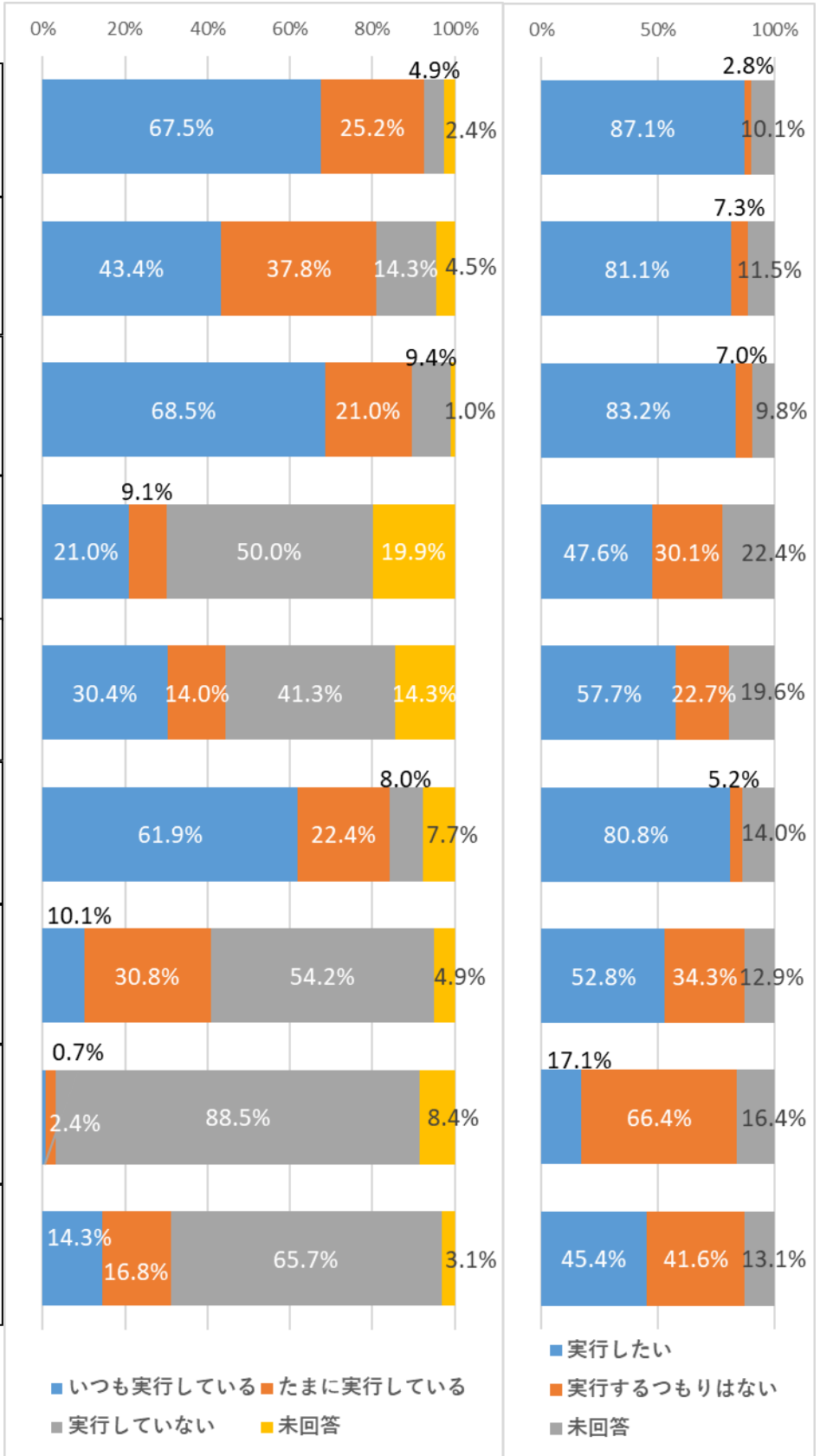
問6 節電等による省エネルギーを、日常的にどの程度実行していますか？また、今後の取組についても教えてください。（それぞれに○を1つ）



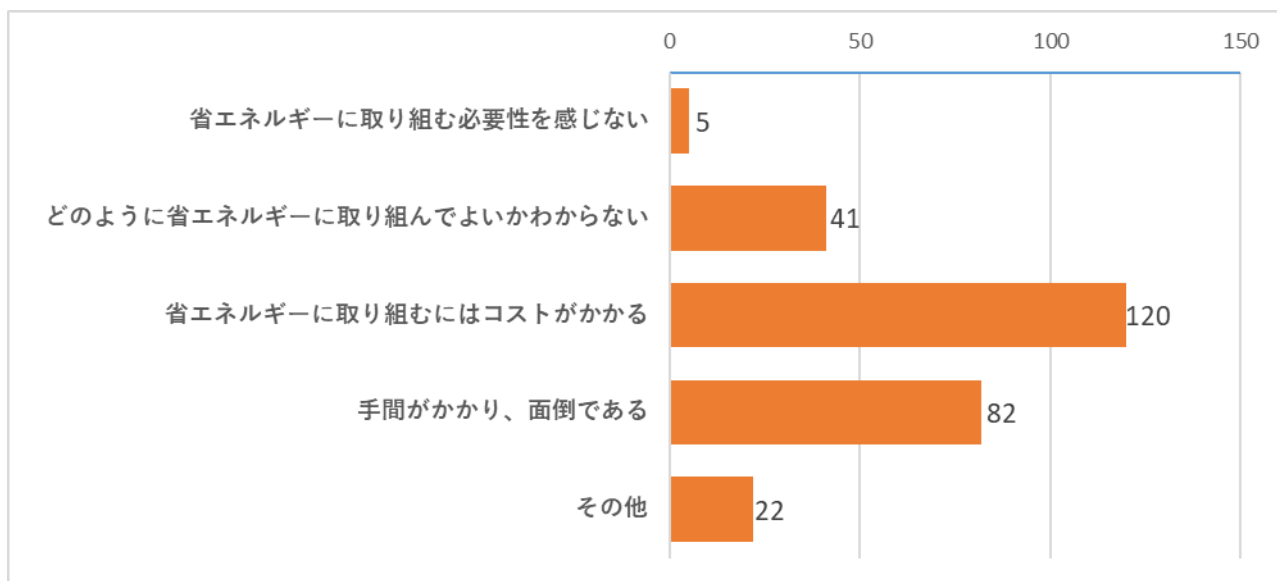
【現在】

【将来】

- 10. シャワーはお湯を出しっぱなしにしないようにしている
- 11. お風呂は、時間間隔をあけずに入るなど、追い炊きをしないようにしている
- 12. 洗濯物はできるだけまとめて洗うようにしている
- 13. 家を建てる際などに、太陽光発電、太陽熱温水器、家庭用燃料電池設備（エネファーム）などを導入するようにしている。
- 14. 車を購入の際に、ハイブリッド自動車・電気自動車・水素自動車など、環境に優しい車を検討している。
- 15. 無駄なアイドリングや急な加減速をしないなど、「エコドライブ」を心掛けている。
- 16. 外出時はできるだけ車を使わず、バスや電車などの公共機関を利用するように心掛けている。
- 17. 福岡県環境家計簿をつけている
- 18. グリーンカーテンを設置している



※前の1～17の設問で、「実行していない」に1つ以上お答えの場合、行動を行っていない理由は何ですか。
 (〇はいくつでも)

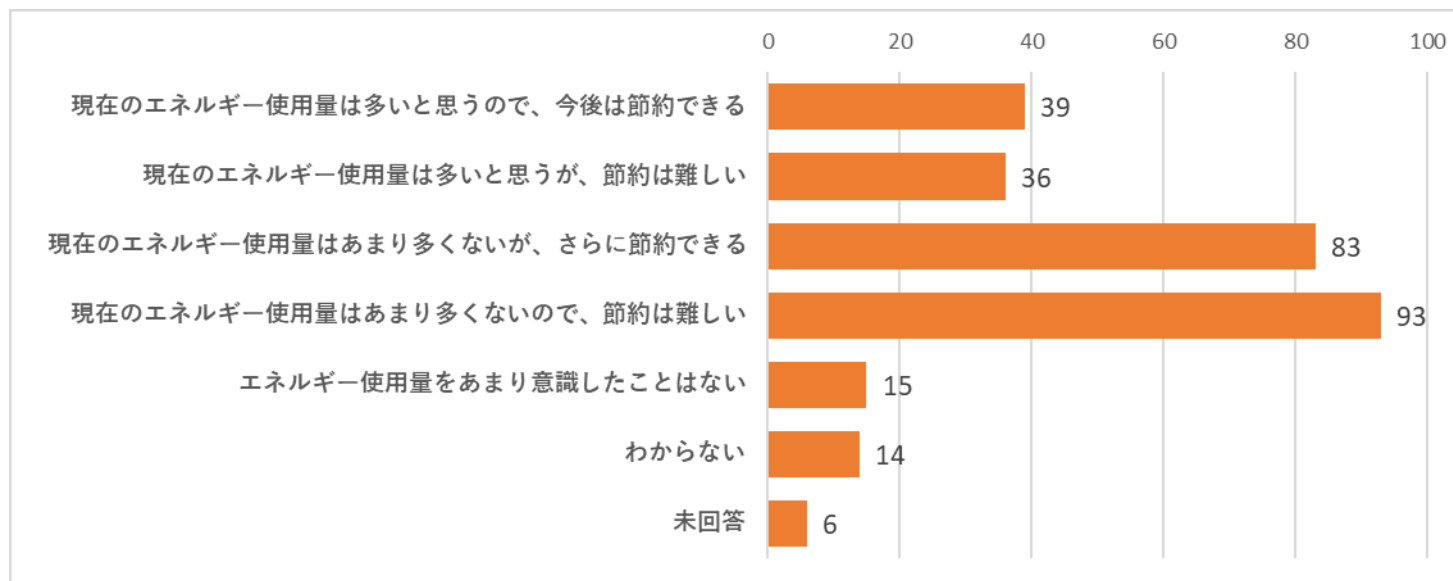


考察)

多くの活動について、ほとんどの市民が「実行している」「実行したい」と回答しており、日常生活から環境に取り組む意識が確認できる。ただ「13. 家を建てる際などに、太陽光発電、太陽熱温水器、家庭用燃料電池設備（エネファーム）などを導入するようにしている。」「14. 車を購入の際に、ハイブリッド自動車・電気自動車・水素自動車など、環境に優しい車を検討している。」など高額な費用がかかるもの、「16. 外出時はできるだけ車を使わず、バスや電車などの公共機関を利用するように心掛けている。」「17. 福岡県環境家計簿をつけている」「18. グリーンカーテンを設置している」などの手間や時間がかかるものについては、数値が低い。行動を行っていない理由でも、「省エネルギーに取り組むにはコストがかかる」「手間がかかり、面倒である」が行っていない理由の1、2位を占めていることから、簡単な取り組みには取り組みたいと考えやすいが、費用や時間など負担が大きくなるものほど、環境を意識しづらくなる傾向があると思われる。簡単に取り組めるものから広げていくなどの対応が必要となる。

また、「5. 電気製品を使わない時は、コンセントからプラグを抜き、待機電力を少なくしている」「9. 電気ポットを長時間使用しないときは、コンセントからプラグを抜くようにしている」など、待機電力に関するものの数値も低い傾向にあるため、市民への広報が必要な分野だと思われる。

問7 あなたはご自分の現在のエネルギー（電気、ガス、ガソリン、灯油など）使用状況をどのようにお感じですか？（○は1つ）

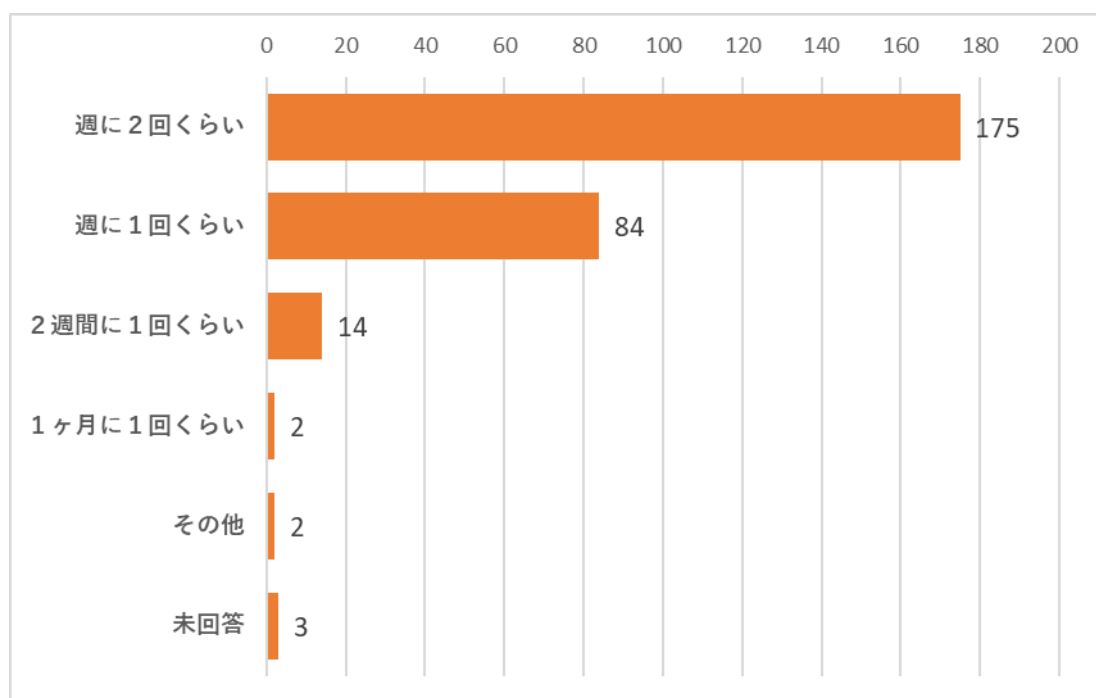


考察)

エネルギー使用量については、「多い」と感じている人よりも「あまり多くない」と感じている人のほうが倍以上おり、省エネについては意識が高いと思われる一方、「今後も節約できる」と感じている人と「節約は難しい」と感じている人はエネルギー使用の大小に関わらず拮抗している。特にエネルギー使用量が「多い」と感じている人について、さらに省エネ意識を高めていくように取組を行っていく必要がある。

問8 可燃ごみを出す頻度はどの程度ですか？

(〇はひとつ)



※その他…2週に3回、10日に1回

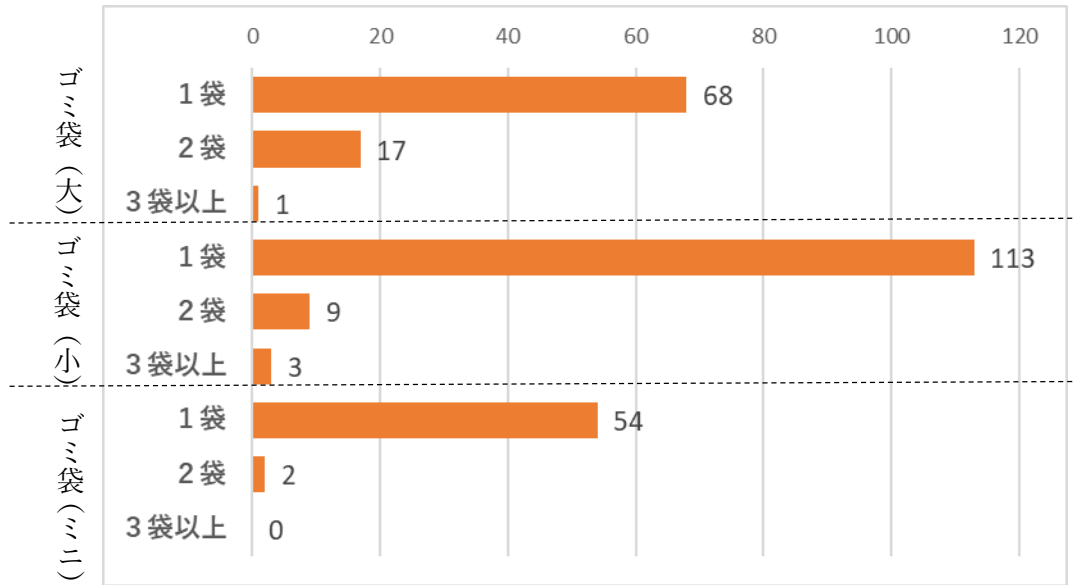
考察)

出す頻度については、「週に2回くらい」と回答している人が圧倒的に多い。過去のアンケートからも、「週に2回くらい」と回答している人は、全体の約6~7割であったことから、現在の収集回数が定着していることがうかがえる。

【参考】

	平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成19年度
1. 週に2回くらい	62.5%	68.7%	65.5%	62.4%
2. 週に1回くらい	30%	24.3%	25.1%	24.0%
3. 2週間に1回くらい	5%	5.7%	5.2%	9.1%
4. 1ヶ月に1回くらい	0.7%	1.0%	1.0%	2.6%
5. その他	0.7%	0.2%	1.0%	1.9%

問9 可燃ごみの量（1回に出す量）はどのくらいですか？



※その他の回答が16件有り（大1+小1（6件）、小1+ミニ1（6件）、大1+小2、大1+小1+ミニ1、大1+小2+ミニ2、小1+ミニ3）

考察)

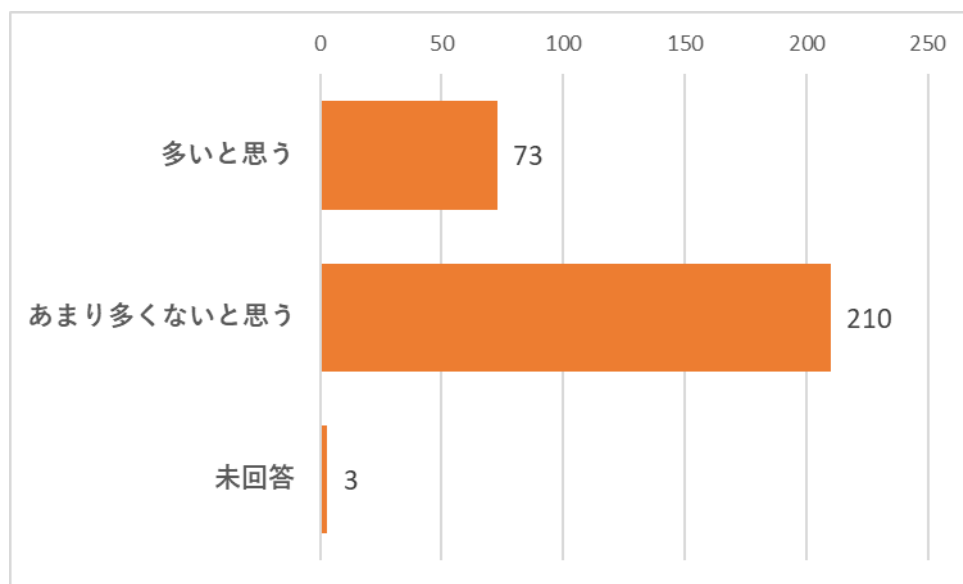
1回に出す量については、「ゴミ袋（小）で1袋」（42.2%）と回答している人が多い。平成27年度のアンケートと比較すると、「ゴミ袋（ミニ）で1袋」と回答している人は2.1%増で、「ゴミ袋（大）で1袋」と回答している人は4.5%の減である一方、「ゴミ袋（大）で2袋」と回答している人が3.4%増である。

このことから、排出量に合ったゴミ袋を使用していることが分かるが、今後もごみ量の削減に向けて継続して市民へ分かりやすい分別の方法を周知・継続していくことが必要だと思われる。

【参考】

		平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成19年度
大袋	1袋	25.6%	30.1%	32.4%	設問なし
	2袋	5.6%	2.2%	3.6%	
	3袋以上	0.3%	0.4%	1.0%	
小袋	1袋	42.2%	42.2%	41.3%	
	2袋	3.7%	4.9%	4.1%	
	3袋以上	1%	0.2%	0.0%	
ミニ袋	1袋	20.3%	18.2%	16.3%	
	2袋	1%	1.3%	1.3%	
	3袋以上	0.3%	0.2%	0.0%	

問 10 あなたはご自分の家庭から出るごみの量をどのようにお感じですか。
 (〇はひとつ)



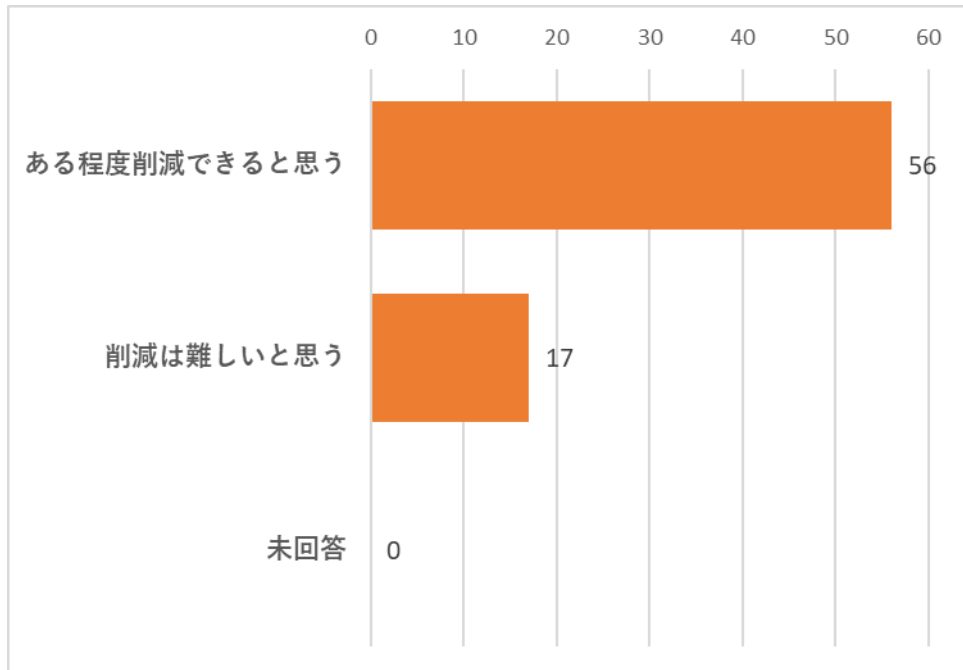
考察)

「あまり多くないと思う」と回答した人が、「多いと思う」と回答した人の約3倍おり、家庭から出るごみの量については、分別できているという意識が高いことが読み取れる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
多いと思う	25.5%	27.2%	27.2%	設問なし
あまり多くないと思う	73.4%	72.8%	65.5%	

問 11 【問 10】で「1. 多いと思う」と回答された方にお尋ねします。
 今後、ごみの量を削減できると思いますか。 (〇はひとつ)



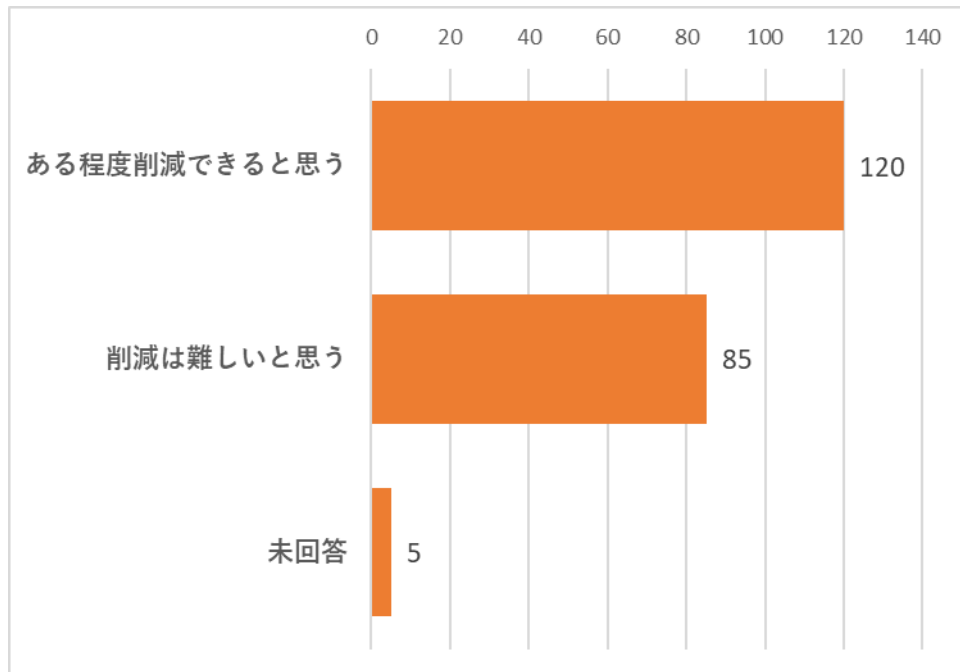
考察)

「多いと思う」と回答した人で「ある程度削減できると思う」と回答した人が、76.7%いることから、分別方法は理解していることが実行されていないことが読み取れる。そのため、特に分別が容易で資源化にもつながる雑がみについては、出前講座等や広報等で市民へ継続して、周知・啓発していくことが必要だと思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
ある程度削減できると思う	76.7%	71.2%	73.2%	設問なし
削減は難しいと思う	23.3%	28.8%	26.8%	

問 12 【問 10】で「2. あまり多くないと思う」と回答された方にお尋ねします。
 今後、ごみの量を削減できると思いますか。 (〇はひとつ)



考察)

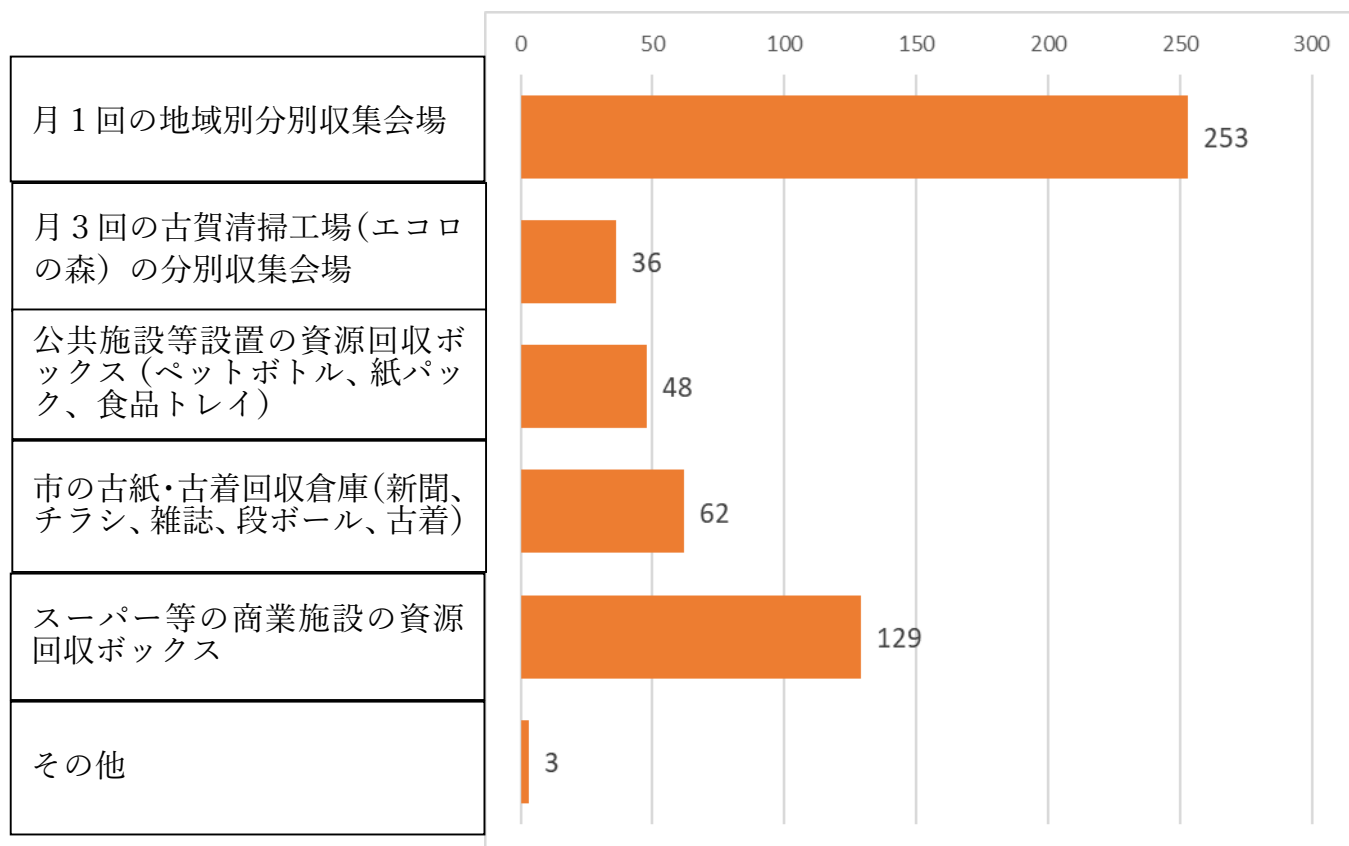
「あまり多くないと思う」と回答した人で「ある程度削減できると思う」と回答した人が、57.1% いることから、まだ、分別できると理解していることが読み取れる。【問 11】と同様に市民へ分かりやすい周知・啓発をしていくことが必要だと思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
ある程度削減できると思う	57.1%	56.1%	60.6%	設問なし
削減は難しいと思う	40.5%	43.9%	39.4%	

問 13 分別ごみ（可燃ごみ以外の資源ごみ）をどこに出していますか。

（〇はいくつでも）



※その他…古紙回収業者・リサイクルショップ等、子ども会育成会の廃品回収、保育所

考察)

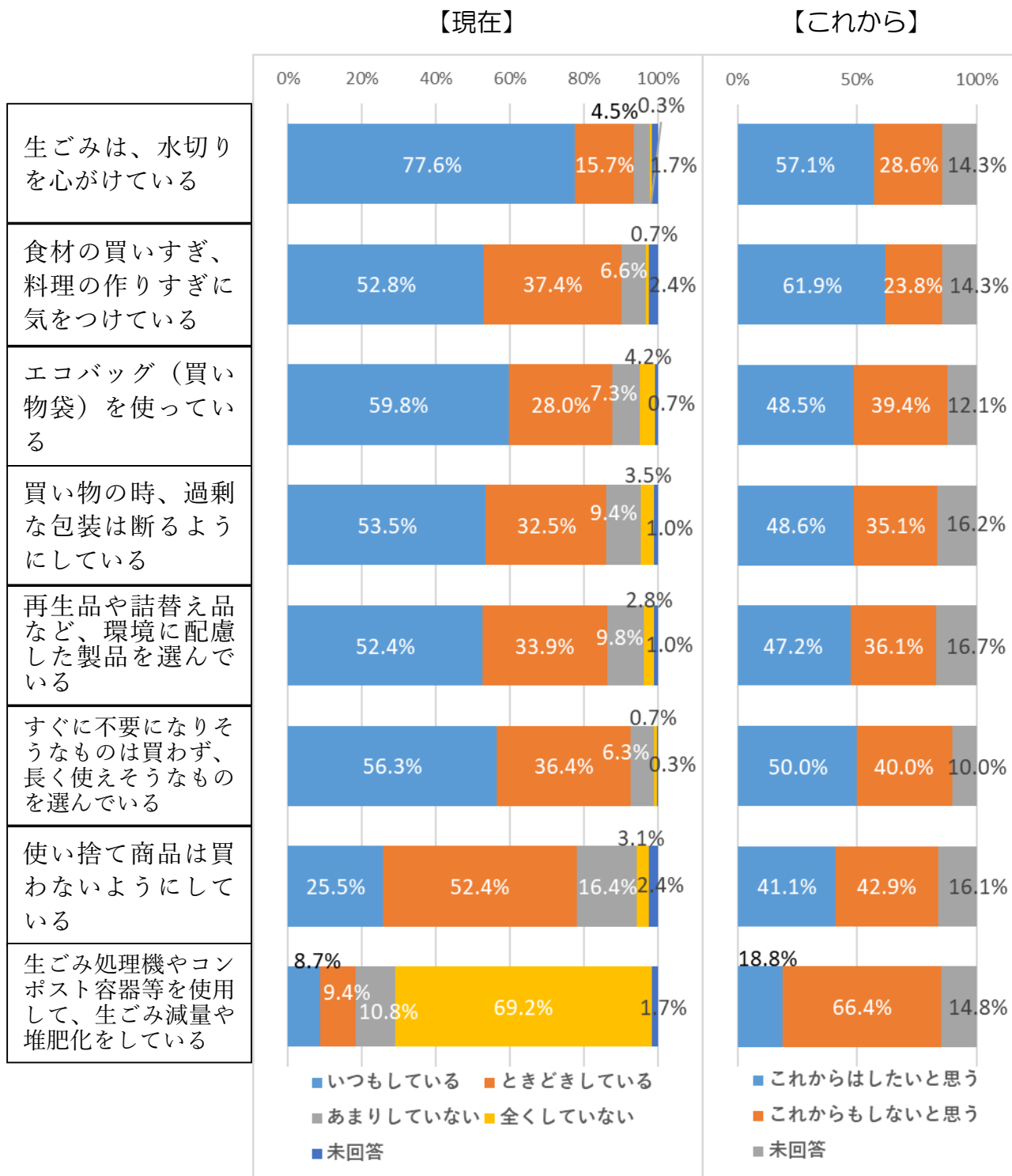
「月 1 回の地域別分別収集会場」が最も多いとともに、公共施設等に設置している「市の古紙・古着回収倉庫」等も多く利用されていることが読み取れる。また、「スーパー等の商業施設の資源回収ボックス」も利用されていることから、【問 11】と同様に市民へわかりやすい周知・啓発をしていくことが必要だと思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度		平成 19 年度	
1. 月1回の地域別 分別収集会場	88.5%	83.4%	80.3%	7.8% (両方)	80.1%	8.6% (両方)
2. 月3回の古賀清 掃工場(エコロの森) の分別収集会場	12.6%	8.3%	7.3%		6.4%	
3. 公共施設等設置 の資源回収ボックス (ペットボトル、紙 パック、食品トレイ)	16.8%	16.6%	30.3%		設問なし	
4. 市の古紙・古着 回収倉庫 (新聞、チラシ、雑 誌、段ボール、古着)	21.7%	17.8%	設問なし			
5. スーパー等の商 業施設の資源回収ボ ックス	45.1%	49.9%				
6. その他	1.0%	8.3%	3.1%		2.4%	

問 14 「ごみの減量」・「リサイクル」のために、どのようなことをしていますか。
 (それぞれ〇はひとつ)

※【これから】については「あまりしていない」「全くしていない」の回答の人のみ



考察)

「生ごみ処理機やコンポスト容器等を使用して、生ごみ減量や堆肥化をしている」以外の項目については、現在「いつもしている」「ときどきしている」と回答している人がほとんどであり、また、「これからはしたいと思う」と回答した人は、概ね5割いることから実行していく意識は高いことが読み取れる。

しかし、「生ごみ処理機やコンポスト容器等を使用して、生ごみ減量や堆肥化をしている」については、現在「全くしていない」と回答した人が69.2%のうち、「これからはしないと思う」と回答した人が66.4%と多いことから、生ごみの分別に関しては、広報の強化やさらに容易に取る組める方法の検討などが必要なことがうかがえる。

このことから、ごみの減量については、「生ごみギュッと最後のひとしぼり」をすることや、「リデュース」(食材を必要以上に買いすぎない)などを引き続き、啓発していく必要があると思われる。

【参考】

	いつもしている			ときどきしている		
	平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成29年度	平成27年度	平成24年度
生ごみは、水切りを心がけている	77.6%	80.8%	76.4%	15.7%	16.5%	20.9%
食材の買いすぎ、料理の作りすぎに気をつけている	52.8%	58.0%	56.3%	37.4%	32.4%	39.2%
エコバッグ(買い物袋)を使っている	59.8%	56.2%	39.1%	28.0%	30.0%	44.4%
買い物の時、過剰な包装は断るようにしている	53.5%	47.3%	46.3%	32.5%	34.7%	45.7%
再生品や詰替え品など、環境に配慮した製品を選んでいる	52.4%	47.4%	48.4%	33.9%	39.1%	42.3%
すぐに不要になりそうなものは買わず、長く使えるものを選んでいる	56.3%	48.1%	52.3%	36.4%	42.7%	42.6%
使い捨て商品は買わないようにしている	25.5%	23.8%	30.3%	52.4%	56.6%	60.6%
生ごみ処理機やコンポスト容器等を使用して、生ごみ減量や堆肥化をしている	8.7%	9.8%	12.4%	9.4%	9.3%	11.8%

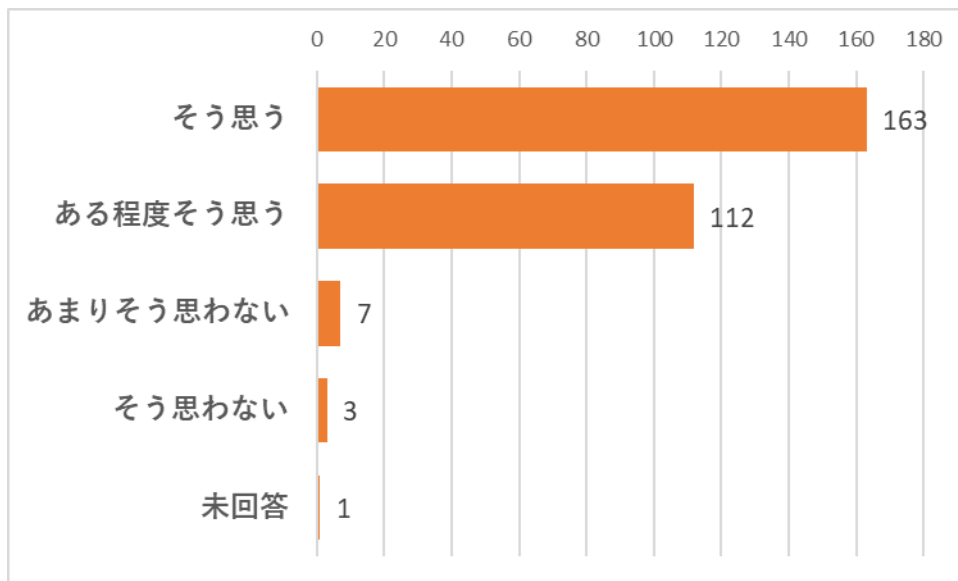
【参考】

	あまりしていない			全くしていない		
	平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成29年度	平成27年度	平成24年度
生ごみは、水切りを心がけている	4.5%	2.4%	設問なし	0.3%	0.2%	2.7%
食材の買いすぎ、料理の作りすぎに気をつけている	6.6%	8.4%		0.7%	1.2%	4.5%
エコバッグ(買い物袋)を使っている	7.3%	5.8%		4.2%	8.0%	16.5%
買い物の時、過剰な包装は断るようにしている	9.4%	13.8%		3.5%	4.1%	8.0%
再生品や詰替え品など、環境に配慮した製品を選んでいる	9.8%	11.3%		2.8%	2.2%	9.3%
すぐに不要になりそうなものは買わず、長く使えるものを選んでいる	6.3%	8.0%		0.7%	1.2%	4.9%
使い捨て商品は買わないようにしている	16.4%	16.7%		3.1%	2.9%	9.1%
生ごみ処理機やコンポスト容器等を使用して、生ごみ減量や堆肥化をしている	10.8%	5.1%		69.2%	75.8%	75.8%

【参考】

	これからは したいと思う			これからも しないと思う		
	平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成29年度	平成27年度	平成24年度
生ごみは、水切りを 心がけている	57.1%	72.7%	97.1%	28.6%	27.3%	2.9%
食材の買いすぎ、料理の 作りすぎに気をつけてい る	61.9%	69.4%	96.8%	23.8%	30.6%	3.2%
エコバッグ(買い物袋)を 使っている	48.5%	54.7%	93.7%	39.4%	45.3%	6.3%
買い物の時、過剰な包装 は断るようにしている	48.6%	66.2%	95.6%	35.1%	33.8%	4.4%
再生品や詰替え品など、 環境に配慮した製品を選 んでいる	47.2%	61.7%	95.0%	36.1%	38.3%	5.0%
すぐに不要になりそうな ものは買わず、長く使え そうなものを選んでい る	50.0%	68.6%	97.1%	40.0%	31.4%	2.9%
使い捨て商品は買わない ようにしている	41.1%	42.6%	94.3%	42.9%	57.4%	5.7%
生ごみ処理機やコンポス ト容器等を使用して、生 ごみ減量や堆肥化をして いる	18.8%	18.8%	56.7%	66.4%	81.2%	43.3%

問 15 「ごみの分別に手間がかかっても、きちっと分別すべきである」ということについて、どのようにお考えになりますか。(〇はひとつ)



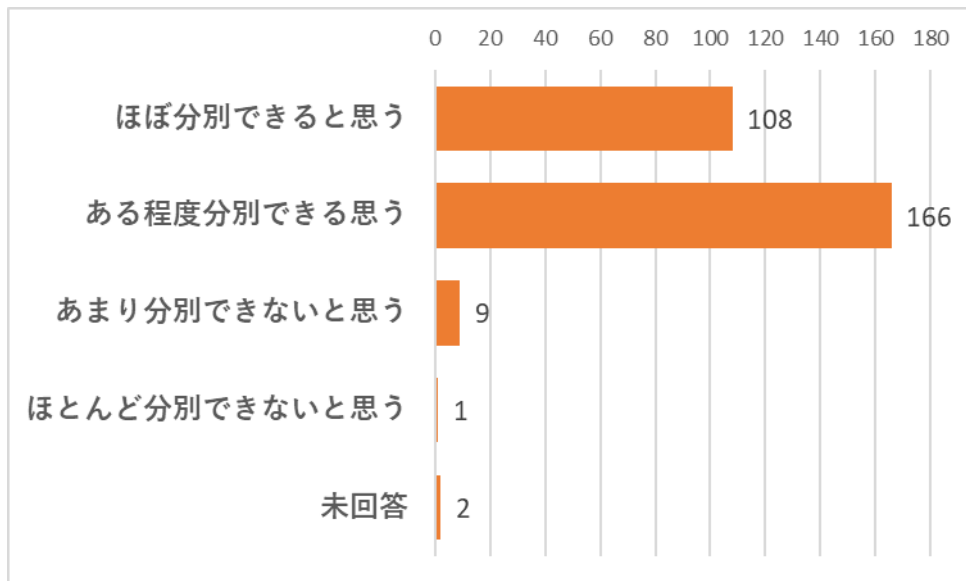
考察)

「そう思う」、「ある程度そう思う」と回答した人が、ほとんどであることから分別意識は高いことが読み取れる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
そう思う	57.0%	54.8%	設問なし	
ある程度そう思う	39.2%	39.5%		
あまりそう思わない	2.4%	5.0%		
そう思わない	1.0%	0.7%		

問 16 手間のかかるごみ分別について、どの程度分別できるかと思えますか。
 (〇はひとつ)



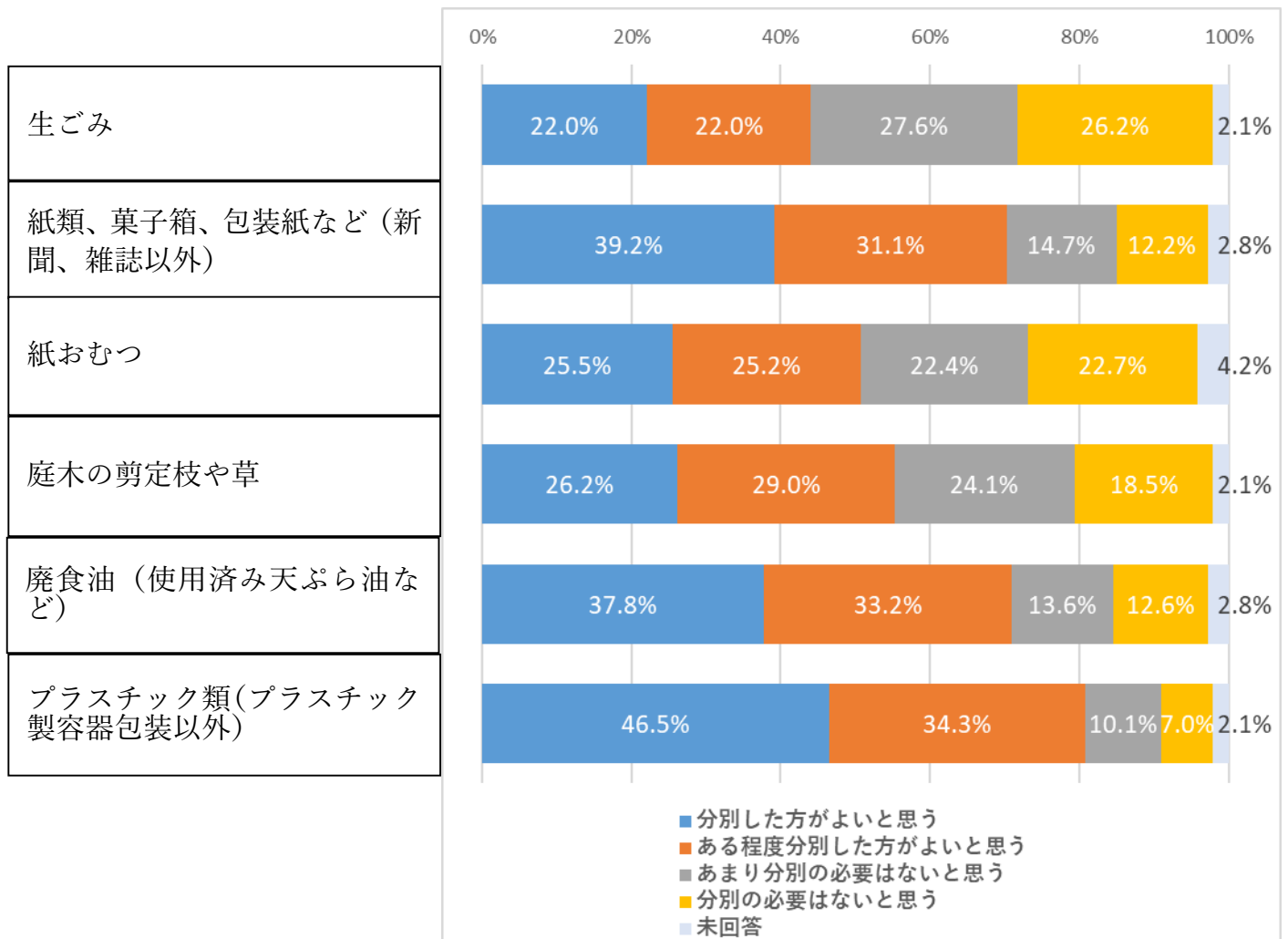
考察)

「ほぼ分別できると思う」、「ある程度分別できると思う」と回答した人が、ほとんどであることから分別できている意識が高いことが読み取れるため、今後も出前講座や広報等で市民へ継続して、周知・啓発していくことが必要だと思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
ほぼ分別できる と思う	37.8%	40.0%	設問なし	
ある程度分別できる と思う	58.0%	54.3%		
あまり分別できない と思う	3.1%	4.8%		
ほとんど分別できない と思う	0.3%	1.0%		

問 17 現在、可燃ごみとしている次の品目を資源活用するための分別について、どのようにお考えですか。
(〇はそれぞれひとつ)



考察)

「紙類」「紙おむつ」「廃食油」「庭木の剪定枝」「プラスチック類」については、「分別した方がよいと思う」、「ある程度分別した方がよいと思う」と回答した人が50%を超えていることから、資源活用の意識が高いことが読み取れる。しかし、「生ごみ」については「あまり分別の必要はないと思う」、「分別の必要はないと思う」と回答した人が53.8%いることから、「生ごみ」の分別については広報の強化やさらに容易に取る組める方法の検討などが必要なことがうかがえる。

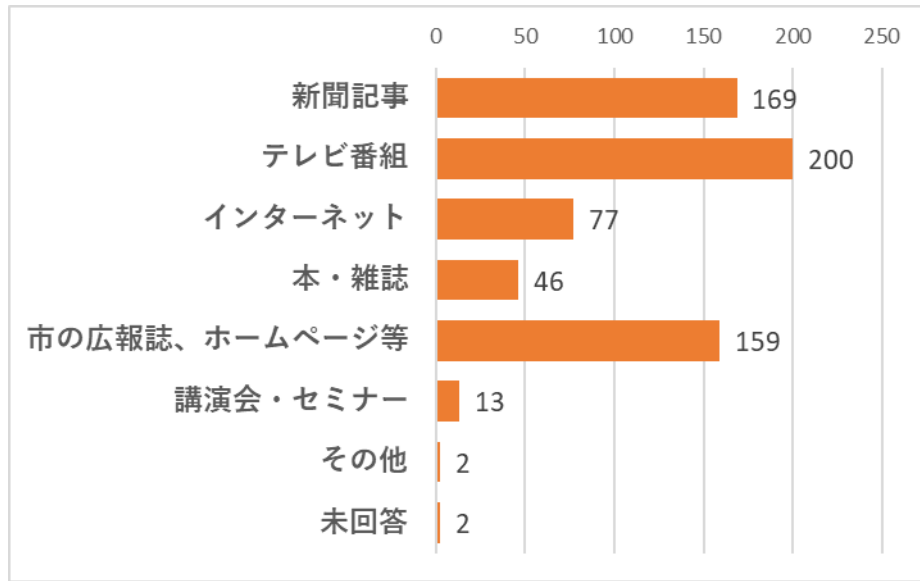
【参考】

	分別したほうが よいと思う			ある程度分別したほうが よいと思う		
	平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成29年度	平成27年度	平成24年度
生ごみ	22.0%	19.6%	設問なし	22.0%	25.6%	設問なし
紙類、菓子箱、包装紙など (新聞、雑誌以外)	39.2%	45.9%		31.1%	30.5%	
紙おむつ	25.5%	34.7%		25.2%	21.3%	
庭木の剪定枝や草	26.2%	28.3%		29.0%	31.9%	
廃食油(使用済み天ぷら油 など)	37.8%	41.0%		33.2%	32.3%	
プラスチック類(プラスチ ック製容器包装以外)	46.5%	18.8%		34.3%	39.5%	

	あまり分別の必要は ないと思う			分別の必要は ないと思う		
	平成29年度	平成27年度	平成24年度	平成29年度	平成27年度	平成24年度
生ごみ	27.6%	26.6%	設問なし	26.2%	28.3%	設問なし
紙類、菓子箱、包装紙など (新聞、雑誌以外)	14.7%	13.6%		12.2%	9.9%	
紙おむつ	22.4%	21.5%		22.7%	22.5%	
庭木の剪定枝や草	24.1%	22.4%		18.5%	17.4%	
廃食油(使用済み天ぷら油 など)	13.6%	15.3%		12.6%	11.5%	
プラスチック類(プラスチ ック製容器包装以外)	10.1%	28.7%		7.0%	13.0%	

問 18 ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源はどれですか？

(〇はいくつでも)



※その他…福岡友の会でいつも考えている、仕事・ボランティアに関わりから、地域の人達からの情報、地域の分別会場

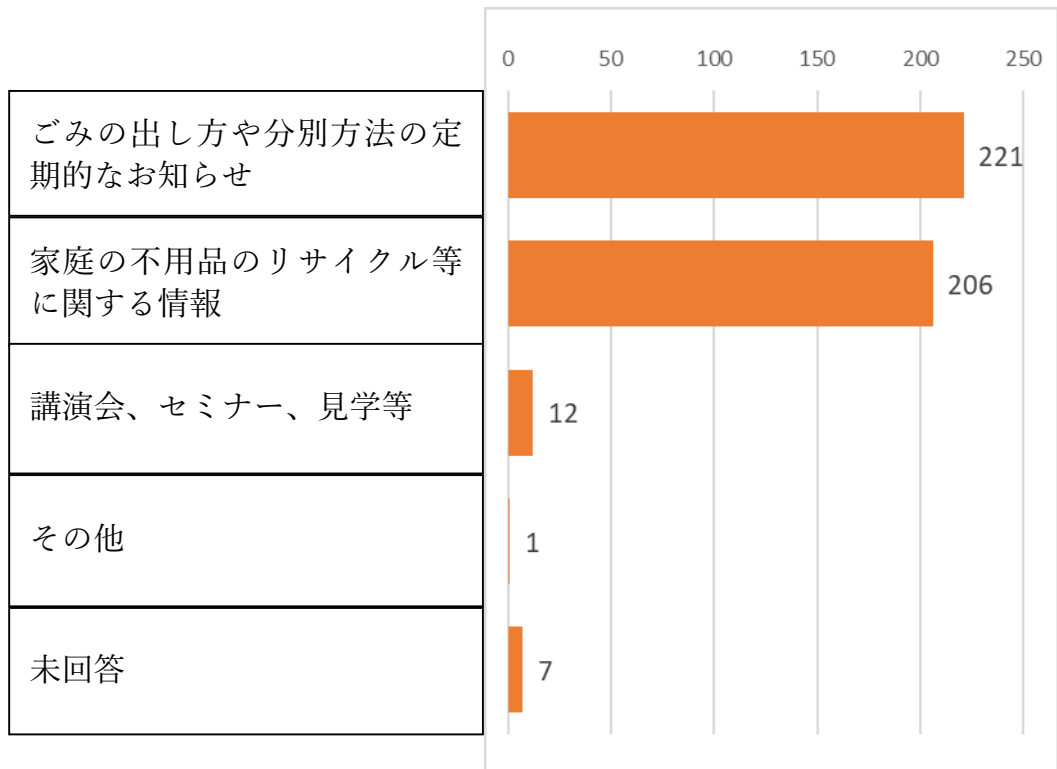
考察)

「新聞記事」、「テレビ番組」、「市の広報誌、ホームページ」と回答した人が、多いことが読み取れる。今後も「市の広報誌、ホームページ」については、市民へわかりやすい情報を伝えていくことが必要だと思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
新聞記事	59.1%	53.0%	62.7%	60.9%
テレビ番組	69.9%	66.8%	71.8%	59.6%
インターネット	26.9%	20.9%	18.9%	6.8%
本・雑誌	16.1%	12.8%	19.2%	17.7%
市の広報誌、 ホームページ等	55.6%	58.1%	59.6%	59.1%
講演会・セミナー	4.5%	3.3%	6.0%	11.3%
その他	0.7%	1.4%	2.3%	2.5%

問 19 市が提供するごみ・環境に関する情報に関して、どのようなものを期待しますか。
(〇はいくつでも)



※その他…まずどこに出すのか、もったいない精神をもっと行政として取り組んで欲しい、今で十分丁寧だと思う

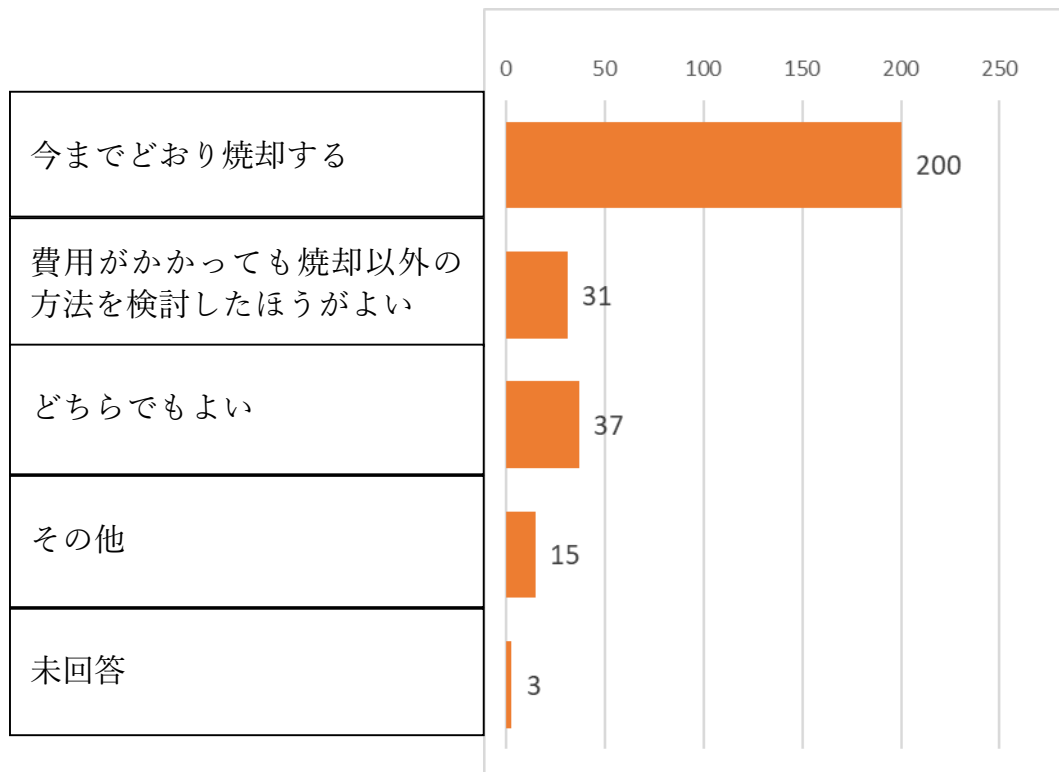
考察)

「ごみの出し方や分別方法の定期的なお知らせ」「家庭の不用品のリサイクル等に関する情報」に期待すると回答した人が多いことから、今まで以上に市民へ分かりやすい情報を知らせるとともに、出前講座等にて地域へ出向いて説明していくことが必要だと思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
ごみの出し方や分別方法の定期的なお知らせ	77.3%	70.1%	35.2%	設問なし
家庭の不用品のリサイクル等に関する情報	72.0%	66.6%	49.7%	
講演会、セミナー、見学会等	4.2%	4.0%	4.4%	
その他	0.7%	2.8%	4.1%	

問 20 今後の「可燃ごみ」はどのように処理していくことが望ましいと思いますか。
 (〇はひとつ)



その他…・焼却+α

- ・少しずつできるところから減らしていく（庭木の剪定枝や草など）
- ・焼却することのメリット、デメリットがよく分からないのでそれを知った上で判断したい
- ・維持管理費の高額なガス化溶融炉を廃して普通のストーカ式焼却炉で処理する
- ・必要と思われる処理方法を提案してはどうか
- ・どちらともいえない
- ・わからない 等

考察)

「今までどおり焼却する」と回答している人がほとんどであるが、「費用がかかっても焼却以外の方法を検討したほうがよい」という回答も 1 割程度あり、市民の関心が高いことがうかがえる。また、その他の回答にあったように「メリット、デメリットがよく分からないので、それを知ったうえで回答したい」という人もいると思われる。

【参考】

	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 24 年度	平成 19 年度
今までどおり焼却する	69.9%	67.6%	92.9%	設問なし
費用がかかっても焼却 以外の方法を検討した ほうがよい	10.8%	9.9%	7.8%	
どちらでもよい	12.9%	19.1%		
その他	5.2%	3.4%		

問 21 地図上の名称を参考に、表の質問に対して該当する場所をご記入ください。また、その場所を選んだ理由を、簡単にお書きください。

(1～3番目まで回答)

※回答率…記入いただいた意見総数に対する割合

【特に残しておきたい場所】

場所	回答数	回答率	選んだ理由
古賀グリーンパーク	62	20.5%	自然豊かな公園だから、子供達とでかけられる公園だから、広くて多目的に利用できるの、遊具もあり自然もある、毎日の散歩コース、古賀市民の憩いの場として
千鳥ヶ池（公園）	47	15.6%	身近で自然を感じられる、ウォーキングするのに最適、自然があり憩いの場所だから、自然もありスポーツも楽しめる、野鳥が見れる
花鶴が浜（公園）、松原、海岸など	43	14.2%	海、砂浜、松林がきれいだから、夕日がきれい、散歩・ウォーキングするのにちょうどいい、古賀市の花としてハマボウがきれい
薬王寺周辺	38	12.6%	ホテルがきれいだから、古賀唯一の温泉場所だから、自然豊かで癒される所だから、歴史が有るから、古賀町音頭にも出てくるぐらいだから
大根川、青柳川、薬王寺川	19	6.3%	古賀を象徴する川だから、上流のホテル、桜が美しい、自然豊かな場所だから
清瀧、こもの	15	5.0%	桜・ホテルがきれいだから、大根川上流が美しいから、自然環境が一番よいと思う、水がきれい
興山園	13	4.3%	四季が感じられるから、桜がきれいだから、紅葉がきれいだから、ハイキングコースとして
鹿部山	12	4.0%	ちょっとしたハイキングにいいので、自然豊かで子供達の遊び場になってる、頂上での見晴らしが良い
古賀神社	8	2.6%	地元の神社だから、桜がきれい、パワースポットとして
岳越山（公園）	5	1.7%	見晴らしがとても良い、気軽に行けるハイキングコース、自然がいっぱいで冒険できる
五所八幡宮	4	1.3%	景観・歴史が感じられる、楠が美しい

その他の回答…小山田斎宮の社叢、熊野神社、小野公園、古賀の田畑、神社全て、県道35号線青柳町～流の交差点、九州自動車道より山のほう、古賀市内の蛍が見える所全部、リーパスプラザ、図書館、サンフレア古賀、西鉄跡地、舞の里、米多比、すべて残してほしい、等

【特に改善してほしい場所】

場所	回答数	回答率	選んだ理由
大根川、青柳川、薬王寺川	32	16.3%	川の中に木や草が多い、水質が悪い・汚い、ごみの投棄が多い、浅くなり水の流れが悪い、久山のいの川みたいに遊べるようにしてほしい
花鶴が浜（公園）、松原、海岸など	28	14.3%	事故が起こらないようにしてほしい、海で安心して遊べるように整備して、歩道が砂で埋まっているの整備を、松林の保護対策、船溜り付近をすっきりとした状態にしてほしい
千鳥ヶ池（公園）	25	12.8%	池の周回歩道の整備、池の清掃、薄暗くて怖い感じ、草木が多い茂っている、雑木林の木の管理、子供が水に親しめる（遊べる）ところが欲しい。
古賀グリーンパーク	16	8.2%	車がないと行けないからもっと行きやすくしてほしい、バスが少ない、自然とふれあうことのできる施設にしてほしい（月に何回か体験教室やプレーパークみたいなのと一緒に）
道路	12	6.1%	脇の草が伸びすぎているところが多い、渋滞してる時排ガスがきつい、デコポコ道が多いと思う、行き止まりや複雑な道が多い
薬王寺周辺	10	5.1%	もっと行きやすくしてほしい、もっと廻りをきれいにしてほしい、殺風景で怖い
清瀧、こもの	6	3.1%	名所にしてほしい、変な業者が沢山土地を買って荒らしているので規制を厳しくしてほしい
鹿部山	5	2.6%	頂上がもっと整備されているとよい、もう少し見晴らしがよければと思う、公園としての設備がない

その他の回答…古賀橋付近（デイリー横）、小野公園、サンコスモ、西山、古賀ダム、駅前通り、千鳥駅、クロスパス古賀

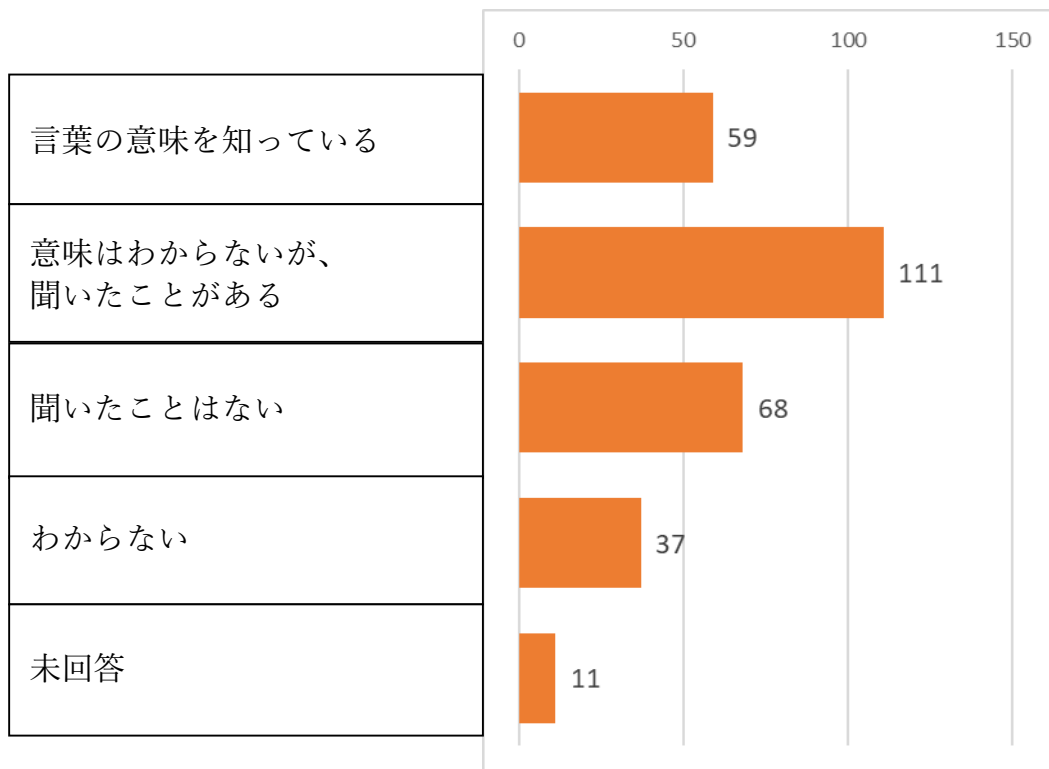
考察)

「特に残しておきたい場所」にはグリーンパークや千鳥ヶ池公園、花鶴が浜など、街部に近い場所が上位を占めた。また意見の中にも「〇〇するのにちょうどいい」という意見も多く、アクセスの良い身近な自然が求められていることが分かる。また、山側の薦野・清瀧・薬王寺なども回答が多く、特に蛍に関することを回答する人が多かった。古賀の自然の特徴として「蛍が見れる」というのを感じている人が多いのではないかと推察できる。

「特に改善が必要な場所」では川や海岸、千鳥ヶ池などを挙げる人が多く、大根川などの川については、川の汚れや水質についての意見が多かった。また海岸・千鳥ヶ池については遊歩道の整備など環境整備に関する意見が多くあった。全体を通じては「アクセスをよくしてほしい」という意見が散見され、行ってはみたいものの交通手段がないため足が遠のいている、という現状も確認できた。

問 22 あなたは「生物多様性」という言葉を知っていますか？

(○は1つ)

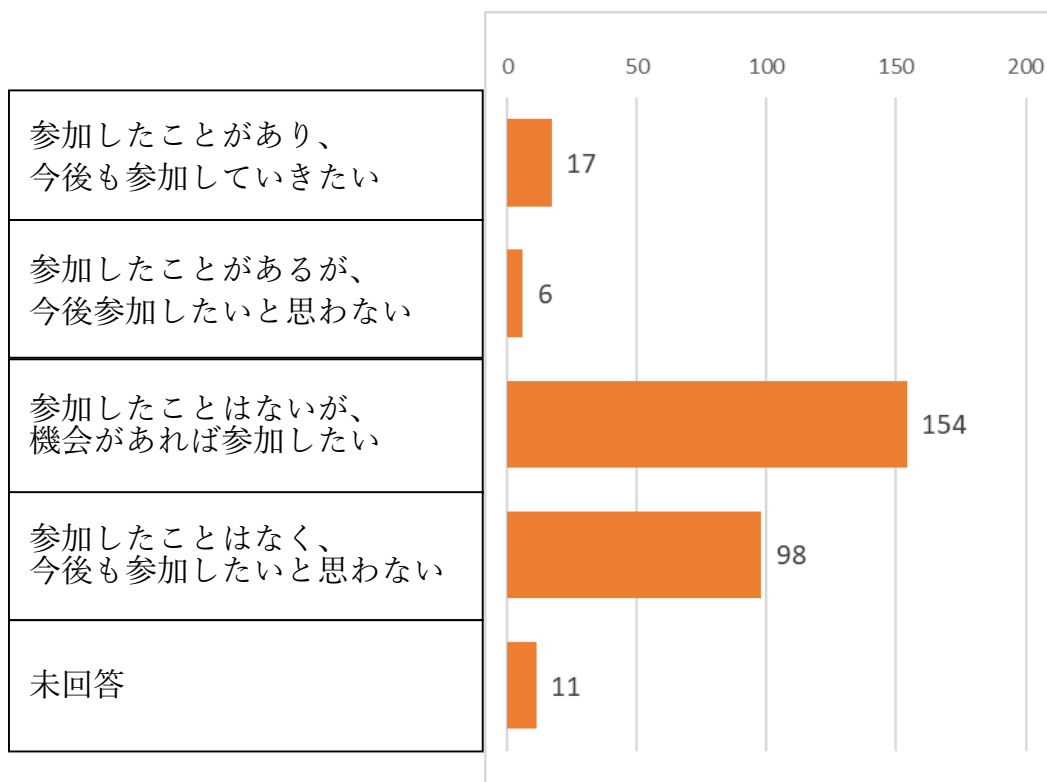


考察)

「生物多様性」という言葉を聞いたことのある人の割合は半分以上を占めているが、言葉の意味まで知っている人の割合は2割程度となっており、言葉は知っていても内容の理解度は低いことがうかがえる。

問 23 自然を体験し、自然への理解を深めることを目的とした自然観察会等に参加したことがありますか？また、今後参加したいと思いますか？

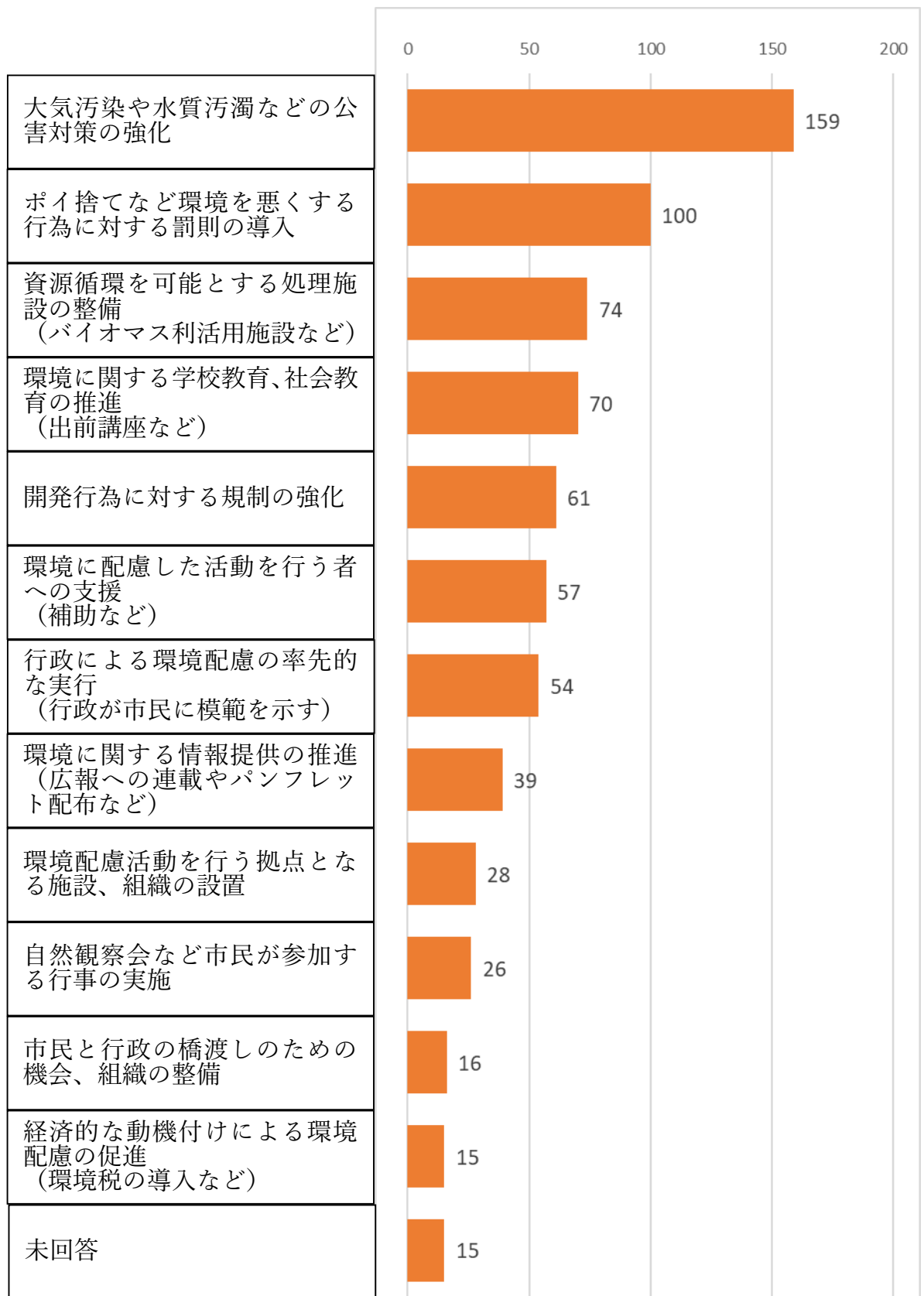
(○は1つ)



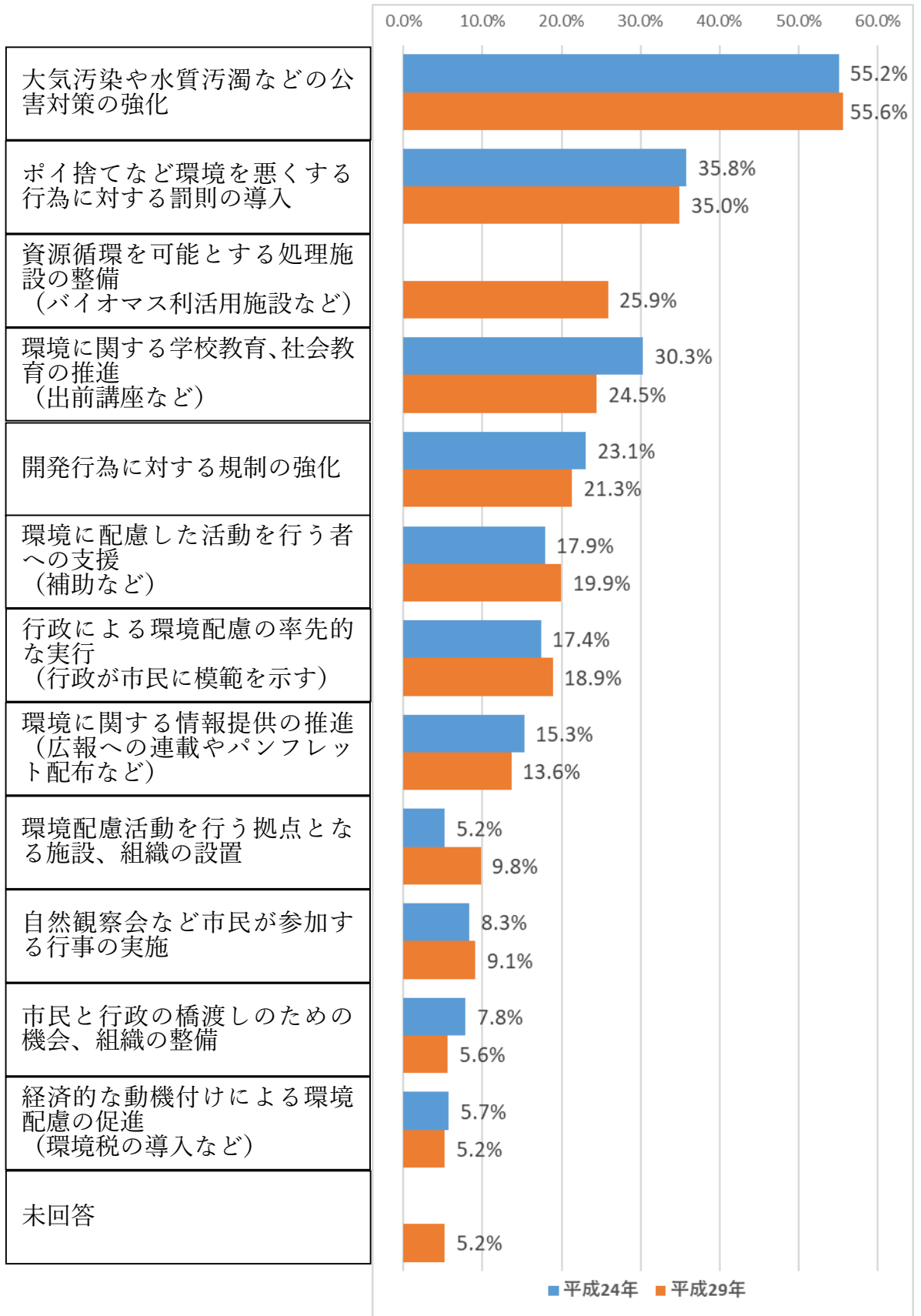
考察)

「参加したことがあり、今後も参加したい」と回答した人は少ないものの「参加したことがあり、今後も参加したい」と回答した人は半数を超えており、参加した経験がある人の割合は高くないが、参加したいという意欲を持つ人は多く、自然を体験し、理解を深めようとしている人が多いことがうかがえる。

問 24 行政が取り組んでいくべき環境に関する施策として、特に重要だとお考えのものはどれですか？
 (〇は3つまで)



(参考) 前回 (平成 24 年 9 月 20 日) のアンケート結果との比較



考察)

行政の重点取組として期待されているものとしては、1位の「大気汚染や水質汚濁などの公害対策の強化」が、2位の「ポイ捨てなど環境を悪くする行為に対する罰則の導入」と比較しても1.5倍の回答を得ており、市民の公害に対する意識の高さと行政に対する期待が浮き彫りとなった。また、1位、2位とも環境の悪化に対する対策を求めるものであり、行政の役割として環境の悪化を防ぐ監視的な役割が期待されているものと思われる。

一方、「環境配慮活動を行う拠点となる施設、組織の設置」「自然観察会など市民が参加する行事の実施」「市民と行政の橋渡しのための機会、組織の整備」などは行政への期待値は低いものの、問5の結果からある程度市民の関心は高く、古賀市で長年活動してきた多くの市民団体の成果により、市民の中に「環境保全活動は市民の手で行う」という意識が高いのではないかと思われる。

問 25 環境を良くするためのアイデアや要望、エネルギーやごみについて、自由なご意見をご記入ください。

○全体について

- 一人一人が環境について自覚する事しかないと思います
- 違反者への厳罰を望みます。
- 「住みやすさ」を考えれば良いと思います。環境を良くするのではなく人々が住みやすいと感じる街づくりが必要。自然だけ守っていても生活しづらければ住みよい街とは言えませんし、ただ便利というだけでも……。ゴミは出す場所が異なっていていまだによくわかりません。燃えるゴミすら自分たちがどこの地区に属するか住所でもわからず、役所に聞きに行きました。他のゴミはスーパーに出してます(資源ゴミ)。土日が出勤だったり夜勤だったりする人はどうやって地域に参加する?全て奥さん?奥さんが病気の人は?
- 各個人の考え方人の資質により美しくなる
- 計画の環境像等からしても、漠然として具体性がない為、活動方法が解らない。もう少し具体性が有ったほうが良いと思う。環境、エネルギー等の重要性は理解しているので特別に取り上げず、もっと身近で具体的なことを取り上げるべきと思う。
- 街の住み良さはまず自然環境を整える事。今地区の松林は皆さんの手入れでとても松にもいい環境になっています。松林に松ろうをと云った取り組みもあります。一つ残念なのは、JR 古賀駅前にあった小松屋旅館を行政の力で活用して欲しかったと思います、今はマンション建設中で残念です。
- 「環境」とよく使うが、「誰のための環境なのか」をよく考えないと思う。「人が快適・安心・安全に住める環境」と考えれば、どうすべきかはおのずと見えてくるのではないだろうか。まずは人にもっと関心を持つことせめて自分の隣の人にとって何が快適・安心・安全な環境なのかを皆が考えればならないのではと思う。

○自然環境について

- 大根川は昔姪たちが来て泳いでいました、今は湿原か?と思うような有様です。土手は市の方で除草してありますが川の中をもっときれいにするように県に言ってください。合流地点の川上は豪雨の際に心配です
- 現在草刈りをされている花鶴川の土手の雑な事、切った草が浜に流されてボランティアで清掃している人の身になってほしい、年々雑になっている又刈り残し部分が多くなっている大雨の時に災害を起こす可能性が大きい。善処してほしい。公園横の土手のハマボウも法律違反のはずでは!
- 古賀市の川ほとんどが手つかずで汚い。きれいになるような取組み市民も一緒に出来るような事を考えてほしい。

- 川沿いを歩いていると川の中は草木が茂っていても大雨で氾濫でもしたらと心配です。
- 川にポイ捨てが良く見られる川の草切りして欲しい
- 大根川の久保の辺りより市役所のところまで川に雑草が茂ってる、川の環境を良くした方がよいと思います
- 海岸や松林の中にゴミが捨てられている。パトロールを強化して欲しい。
- 要望としては、谷山の碎石場をやめさせれば、山の自然も守れるし空気もきれいになり住みやすい古賀市になるのではないのでしょうか？
- 山林などで不法投棄が気になります。現在は古い家電を処分する時に金額が必要とされています、家電を購入時にリサイクル料を先に支払うことで家電の不法投棄は少なくなるのではと思います（古賀市だけでは無理ですけどね）
- 河川整備より浄化する植物等の設置か植付け（両端に）焼却による熱利用を再エネルギー。

○生活環境について

- 野外焼却をする方がいるようにおおいに悩まされています、夏に外から風を入れようと思っても窓を閉めざるを得ず冷房を使いエネルギーの節約にあまりならないです
- 小野校区に住んでいますが山や川にもゴミが捨ててあります、山林の中には大型のものなど時々目にする事があります、山にもカメラが必要なのではないのでしょうか？
- 道路の清掃（草取り）、公園の手入れ
- JRの線路内に空き缶などポイ捨てが目につくのでどうにか出来たら良いと思います
- 中川をきれいにしてほしい、特にJRより下流側が良くない、下水が完備されてなく河川に流れ込んでいる、要調査。
- 古賀市はごみ袋の代金が高すぎるのでポイ捨てが減らないと思います。他市町村では無料の所もある。
- 剪定枝回収を古賀市が実行すべき
- ごみ収集日のカラスによる散らかしが気になります、対策を！
- 筵内地区に住み青柳工業団地で仕事をしていますが気になる事があります。田園風景は好きですが時期により草を燃やしもみ殻を田や周辺堤防で燃やす行為が毎年行われています。もみ殻を燃やす時は3日程煙を出し続け通勤時や工場の中まで煙たく家の窓も開けられません。昔ながらのやり方なのでしょうけど何とか規制できないものではないのでしょうか。
- 庭木や草の処理に運搬まで含むとコストがかかりすぎ結果自然や環境が荒れる事にならないか心配する。
- 古賀市の緑を守る為には住民参加型の保全が不可欠である。農家だけでは古賀市の山野の緑は守れなくなっている。どこにもゴミ箱を置かなくなって来ているがやはりゴミ箱は環境を守る教育には必要ではないか？子供達と共にゴミ箱の片づけ等もさせるといいと思う。

- もっと子供たちが遊べる遊具を充実させてほしい。広場はあっても緑がなくさびれた遊具があったりであり環境という面では充実していないような気がする。地域によって充実度が変わってくると思うのでそこを考えてほしい。松林も清掃はされているが松林周辺に街灯がないので歩いて松林近くの道路を通るのは怖い。
- 下水道の完備、まだ生活排水を流している。古い借家等がある。どうにかしてほしい。
- 雑草が伸び道路まで草が来ており汚い。何十年たっても町がきれいにならない。ごみ集めは夜中に出来ないのか？
- 住居専用地域（住宅地）において煙害を防ぐため（洗濯物を干せない窓が開けられない etc.）マキストーブ等を設置する時は煙突の高さを屋根の1番高い所より高くする、フィルターをつけるなど具体的な決まりを作ってまたマキの販売業者には最低でも2年以上乾燥させたものを売らなければならないような義務付けをして悪臭を放たないようにして欲しい、また使用できる期間も決めて欲しい夜中も燃やし続けている家もある。車道に出ている街路樹の枝は車の障害にならないよう下の方は切って下さいまた北九州市や福岡市のように街路樹に散水車で水やりをした方がいいと思う。
- 古賀市なのにバスが通る所、川の中、道端の草が1年中草！せめてバス道位はシルバーさんで対応できませんか？
- 犬の散歩の際、フンの始末をしない飼い主があり、かなりフンが残っている、地域の人々が自主的に始末に歩いている方があります、飼い主は責任をもって行動していただきたい
- 車の窓より平気でゴミ（タバコ）をポイポイ捨てる人がいる→罰則必要。通報するかドライブレコーダーの提出をする→報酬。
- ポイ捨てや犬の糞の問題に関して厳しくするべきと思う。

○都市環境

- JR古賀駅前を自然環境を取り入れた再開発(緑地化等)
- 古賀市の環境は良いと思うが、古賀駅周辺の都市計画をしっかりと実行してきれいな町にしてほしい。国道3号から山側の市街化調整区域もどうにかならぬのでしょうか
- お金をかければ大きく改善できると思うが少コストでできる街づくりが望ましいです。古賀は住みやすいと思うが街中を気持ちよく歩ける歩道が整備してあったり草花が豊富にあって日常が気持ちよく過ごせる環境であってほしいです。

○地球環境

- 再生エネルギーや地球温暖化などの問題については知識としては分かっているけれど、日々の日常生活との具体的な関連づけができていないと思う。大きな地球規模としての問題としてとらえてしまっていて生活レベルでどう考えていけばよいか分からない。

○資源循環

- 新しく古賀に来た人や1人暮らしの人にここの分別の仕方を分かりやすくかかれたパンフを配布する
- 生ゴミ処理に補助金が出るという事が分かり何かしら生ゴミを減らす方法を考えようと思います
- 資源ゴミで一番多くなるのがプラ製品、台風や大雪などで中止になった場合、2ヶ月分もの量を自宅保管するには場所がない。広い敷地のある家はよいが。可燃ゴミ収集の日に追加してもらえたらと思う。
- プラスチックと金属がくっついた製品など、どう分別してよいか困る。他にもバッグに付いたチャックや金属等々。
- GWやお盆の時にもゴミの回収に来てほしい
- 廃油や剪定枝回収ボックスがあればいいかな？市内循環バスを走らせてほしい（引っ越しして来た時よりも西鉄バスの回数が減ってしまった）例えばクロスパルのバス（満席を見た事が無い）を定額で利用出来る様にするとか？
- 地区の清掃くらいしかよく知らない。リサイクルには関心はあるが古賀でやっているという情報がなかったので福津・宗像・新宮に行っていた。生活している中で特に変わったと感ずることがないので具体的に何をしているのかわからない。
- 環境という言葉自体が曖昧。エネルギー⇔ゴミではないと思う。エネルギーに対する多様化(その考え方などの多様化)。ゴミの分別が分かりにくい。HPでいいのでもっと細かく具体的に。
- ハイブリット車や電気自動車の普及と促進、税制の優遇、逆にガソリン車、軽油自動車への高課税。建築では電気、ガス使用抑制の為家屋に対する断熱材を使用促進
- 身近にもっと分別できる場所を増やしてほしい（月1回の回収みたいな細かい分別物出来る所）
- 過剰包装をなくす事。廃油のリサイクルは個人では出来にくいので行政と共に取り組んで行かないと難しいと思う。
- リサイクルをしたいと思っているが回収する場所やタイミング（廃品回収）が合わず出来ない時があるので、もっとスーパーなどに分別BOX（プラスチックがないので特にプラスチック）を増やせたらこまめに出せるのでみんながリサイクルに協力して出来ると思う。
- 不燃ゴミも生ゴミのように個別に回収してほしいと思います。
- 可燃ごみ出しについて 現在週2回行われているが紙類（雑誌）などまだまだ分別品（リサイクル）として出せる物が多く含まれている。可燃ゴミが少しでも減るよう市民全員の協力がもっともっとあったら。
- 毎月1回の資源ごみ回収時に回収しているプラスチック製容器回収の頻度を増やしてほしいです（月に1回ではたまりすぎ保管場所がない為捨てている状況です）また、可燃ゴミの様にしやすくしていただきたいです（以前住んでいた自治体では"週1回の回

収” “透明のビニール袋であれば何でもよい” という回収法でしたので出しやすく可燃ゴミが少なくてすみません)

- 古紙回収倉庫の使用時間延ばして欲しい、遠いし全く使えない。エコロの森のゴミ収集を平日の午前だけでなく、フルタイムで働き住民税を納めている働く市民の為にも夜間や土・日の日中にも実施して欲しい(例：宗像市) リサイクルの機会が増えれば可燃ゴミが減りダイオキシンの発生も減り環境を良くすることにつながると思います。古賀市としてリサイクル活動を行う方々への支援、涼しく暖かい場所での活動ができるよう支援して欲しい。
- ごみは燃えないごみ、かん、びん、ペットボトルなど自宅で捨てられるようにしてほしい(福岡市と同じように)
- 分別していますがそのゴミはどのようにして全部リサイクルされているか見えてこない。燃やしてるといいうわさもある。公開してほしい。
- 古着や古本などの捨て場所を一覧にして公表してほしい(地図等で)
- 分別ごみは可燃ごみと同様に家の前に出す方式にしないと不法投棄は減らないと思う。不要な家電製品をどこに出していいのかわからず古賀市のパンフレットを見てもわからない「販売店に問い合わせして下さい」みたいな情報はいらぬ。
- 資源回収ボックスの種類を増やして欲しい(ビン、プラなど)。小中学校での環境リサイクルの勉強時間を増やして欲しい(分別、生ゴミ)
- 分別収集は地域のリサイクル活動が月に1回しかなく不便、毎週のゴミ収集日等で分別収集(ペットボトル、ダンボール、紙類等)何とかできないのか?
- 不用品リサイクルの為に不要な人と必要な人を結びつける為地域ごとに期間を決めてガレージセール週間みたいなものをもうけてみては、いい品物については出品者が責任を持ち行政は関与せず、定着すれば自然と町の活性化近所の人との交流にも役立つのでは、ついでに不用品の有効活用につながるのではないか。
- ゴミの分別が細かく良い事と思う反面面倒に感じます。地域の月一の収集に出し忘れると困りわざわざエコロへ・・・。ビン、缶位ゴミで出せないかと思ひます。時々風向きによりますが早朝にタイヤの焼けたような体に悪い!と感じる臭ひします。行政はそういう事業所への指導はちゃんとされてるのでしょうか?
- 行政から家庭にゴミを分解して細かく出来る様な機器をプレゼントして欲しいです 分別収集の機会の増加、回収ステーションの分別種類の増加リデュース(プラごみ等)・品の服や生地を作成を通して古賀ブランドを作るとか。
- 不燃物1週間に1度位で回収して欲しい(篠栗町でもやっている) たまりすぎて外に捨てたりコンビニに捨てたり他の人に迷惑かけている。不燃物の袋を販売すべき。市長の公約に水道料金3割減はどうなっている。
- 他の自治体ではやっている所もあるみたいですがペットボトルを入れたらポイントが付く機械の導入
- 私自身は生ゴミはコンポストに入れて再生を心がけている。ダンボールコンポストはしてみても良かったと思ひているが、市役所に行った時環境課の方々があまり詳しく

なくてビックリした。せめて体験してひろめて頂くとかなり生ゴミは減らせると思います。そして今は市役所では用意出来ずガッカリ！

○環境意識と行動

- 若人の道德教育(タバコ、飲み物ペットボトル、缶類のポイ捨て！)
- 一人一人の意識づけ動機が必要
- 考え方などいろいろだとは思いますが、自分の為だけに生きている人が多いと思う。もう少しみんなの為いろんな物（自然や動物なども）の為生きることに命をいただいて生きていることを子どもたちに教えていけたらいいと思う。
- 「今もさることながらあなたの子や孫さらにはひ孫の世代が生き続けられますか？」というような危機感を持たせるようなキャンペーンはどうでしょう？
- 小学生の頃から道德やごみの分別の仕方など小さい時から自然に頭に入るようにすればいいと思う。常識ある人間形成。
- 環境が悪くなるとどのような理由でどのような実害が起こるかを情報として提供して欲しい
- 今後は実践活動をしてみたい。ぐりんぐりん古賀に申し込みをする。
- 朝、花鶴が浜を散歩している際多くの方々とお会い。話題は浜周辺の環境美化の話が多い。土日子供と一緒にゴミ袋を持ってゴミ拾いに行くがゴミが減ることがない。行政の力だけでは環境美化を維持することは難しいので、多くの方々に現状を広報し考えて欲しいものである。
- 古賀市環境の日を作り市民環境の社会教育、学校教育、リーパスプラザ、地区の公民館で全員で話し合いをしてほしい
- 個々人の取り組みが重要と考えることから、個々人の意識を向上させる取り組みが必要と考える。このため共同参画によるゴミ集め、草取り、花の植栽等の地域共同作業や環境保全意識を高揚させるような行事、講演、知識の普及に努めて欲しい。
- 環境を良くするための活動が行われてることすら知らなかった。たぶん張り紙とかしてあるんだろうけど興味のある人しか見ないのかなと思う。ゴミの分別とか古紙回収をしている場所とかの一覧があったら便利だと思う。今はないけどどこにいつ出せばいいかわからなくて古紙とか可燃ゴミに出しちゃった時もあったから。
- 美化活動やリサイクル活動によってもたらされる有益がどれほど大きいのかを市民一人ひとりが悟るようにする。
- 何か行動しよう、参加しようと思っても交通の便が悪く不便な為に断念することが多い。
- 小中学校での環境教育強化。中国からの大気汚染が深刻なので中国の生活改善及び砂漠化を防ぐよう中国側に要望すること（最近スッキリ晴れることがない、年中どんより）昔はよかったな。
- 省エネや環境について推進している家庭については、市民税の優遇などをして差別化を

図る事でやる人を増やす。その活動が当たり前になり浸透すれば良いと思う。以上ありがとうございます

○その他（アンケートについて、環境問題以外など）

- 古賀小竹地区は水道が通ってなく全地区水道を通してほしい。トイレも水洗になったら助かります。市から補助をしてもらったら助かる。
- 住みたい街、町。西鉄電車が通らなくなって天神へ行けない。線路跡地が有効に使われてない。みあけのJR越え橋ができあがらない。駅周辺の道路事情悪い。古くさい考えで進展しない。保身の人が多い。うわさで働く人が多い。商工会がぬるい。古賀市役所職員の悪口をよく聞く。街の発展を職員が願ってない。若者は住みたくない市。
- 問6の13はごく少数の方しか答えられない問がおかしい！電気カーペットも皆さん使っているのでしょうか？（温風ヒーターとか電気ストーブとかだったら）
- 古賀の良さをもっとPRすべき（情報発信が少ない）古賀駅前付近を整備してもらいたい
- 環境を良くする為のアイデアではないですが。古賀は中心街に行けば買い物や交通も便利だが自然豊かな海と山にも囲まれている。子供達にはこの豊かな自然の中で五感を体験しながら成長してほしい。古賀の海と山で育った子供達が古賀の環境をきっと良くしていってくれると思う。海と山の整備を望む。
- 指定ごみ袋の中があればいい。このアンケートのP9～10で該当する場所はどこを挙げればいいのかよく分らなかった（地図上には小学校や神社なども入っておりどこまでが対象なのか全く分からない）
- 私の住んでいる舞の里区は今大型店が増えて環境は住みやすくなっていると思いますが、人間関係などで問題が出てくるような気持ちで心配です
- 要望です。美明3丁目辰巳住研さん付近のけやきの木が枯れているようです。美明に住んで7年ぐらいですが葉っぱが付いていたのが年々減り今じゃずっと付いているのを見ません。そこだけ枯れているのでけやき通りという景観が少しさみしげな感じはします。元気なけやきの木に植え替えるのは可能でしょうか？
- 問24-10 環境税これ以上の増税は有り得ない
- 回覧で配られる全戸配布の物が多すぎます。なるべく回覧版で見ってもらう方がいいです。区長さん組長さん班長さんの負担も大変です。紙も無駄です。あまり目も通さずほとんどの方がゴミに出しているようです。特に小学校のカラー版のものは全戸配布にせず回覧版で見ってもらうだけで十分だと思います。学校の中で生徒に配布した方がいいです。ごみの減量につながると思います、紙がもったいないですよ、宜しくお願いします。
- 先日の新聞に古賀市は豪雨浸水対策が不十分であるとの事の記事がありましたので対策をお願いします。
- 古賀市だけのことの前に日本から原発をなくすことを望んでいる。福島の後この日本が

- ら原発がなくなる方向に行くと思っていたら再稼働しているので人間は恐ろしいと思う
- 他県や海外から来た人から古賀駅（表）のエレベーター内とエレベーターまわりが物置のようで汚いといわれました、駅は古賀の玄関口だと思うので第一印象を悪くしている様です。旅行する方は荷物が多いのでエレベーターを利用される方が多いと思いますので、もっと清潔にお願いしたいです。
 - アンケートを出しても、それが本当に利用されているか疑問です。西鉄線路跡利用も通学路、公園、歩道にという意見が多い結果にかかわらず自動車道にする方針のようだが何たることか、アンケートの意味がない。
 - ほど良く田舎。山もあり、海もあり。福岡市の中心部に遠すぎず近すぎず、が良いと思います。自然が多い静かな町が好きです。

考察)

平成 24 年のアンケートと同様に、市が周知していることについて「どこにも掲載されていない」「周知がされていない」と指摘をされる意見も多く、周知方法の改善が必要と思われる。また、単なる要望ではなく、積極的な提案や意見もかなり多くあり、環境に対する市民の積極的な姿勢が垣間見えた。

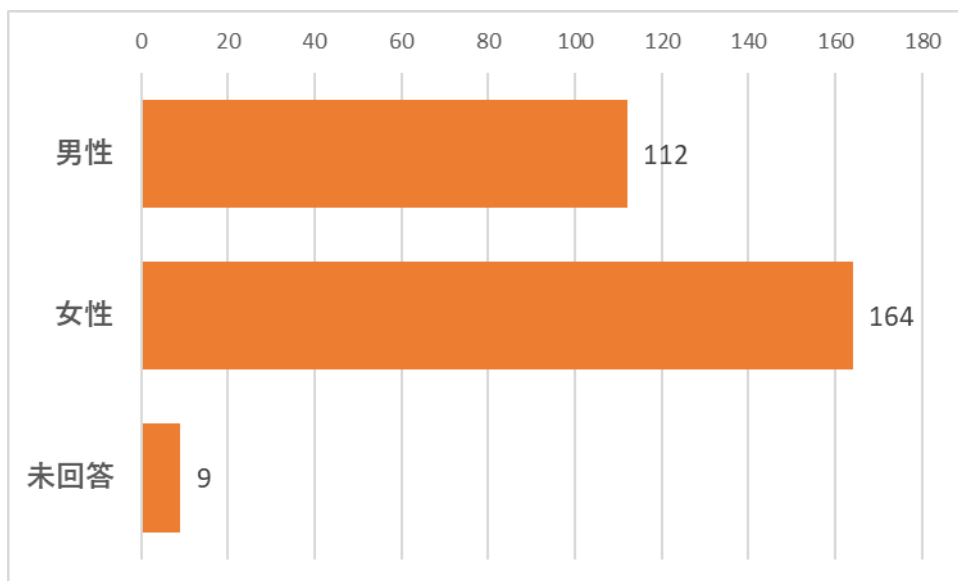
また、前回のアンケートでは数の少なかった環境教育に対する意見が散見され、環境が「行動するもの」という認識に加えて「伝えていくもの」という意識が上がっているのではないかとと思われる。

要望についてはごみの関連などが多く、古賀市が独自で行っている分別収集については評価する声が多いものの、戸別収集を行ってほしいという要望は前回アンケートより根強く残っている。またリサイクルの場（フリーマーケットや交換など）が欲しいという意見も前回から散見される。

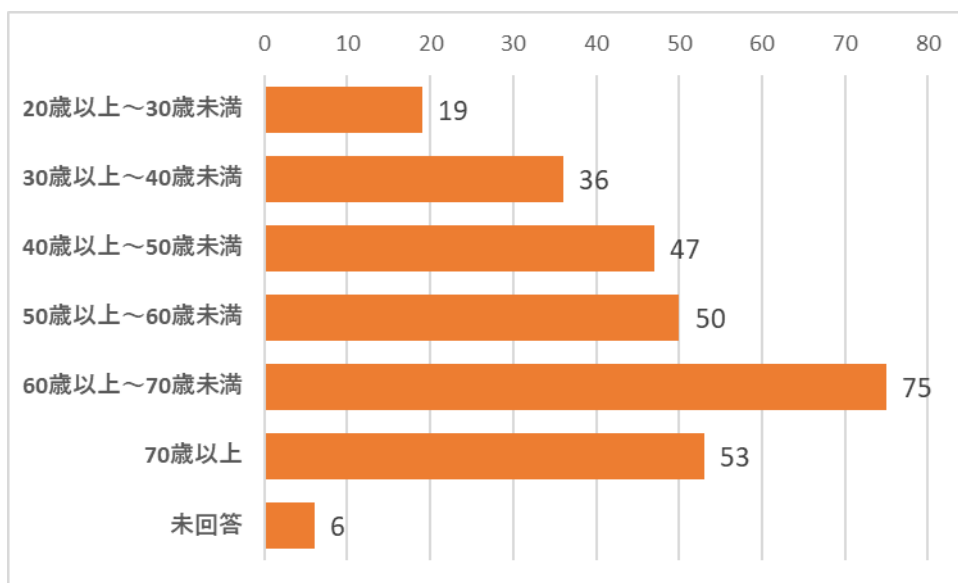
また生活環境について、前回は河川の要望や犬の糞害に関するものがほとんどであったが、今回のアンケートでは野外焼却や薪ストーブの煙害、不法投棄（ポイ捨て）などの要望も出てきており、多様な生活スタイルによる様々な問題が発生していることが分かった。

問 26 ご回答を頂いた、あなた自身について教えてください。

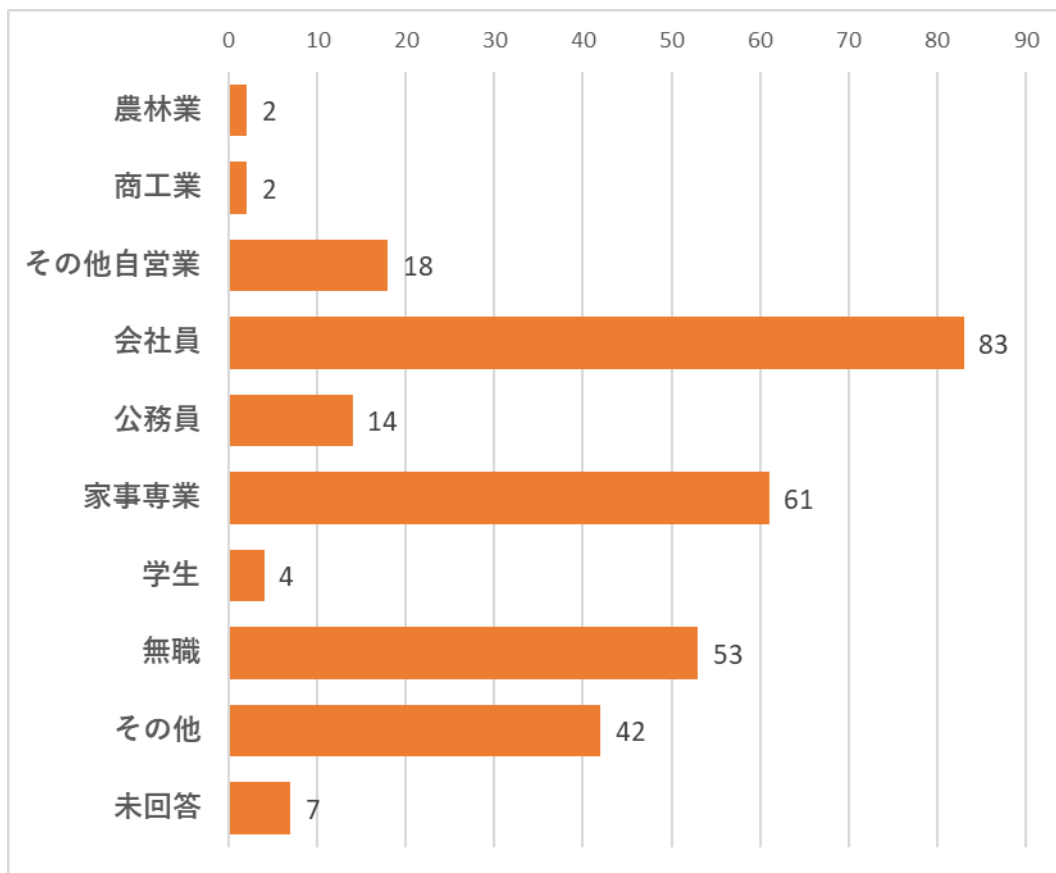
(1) あなたの性別は



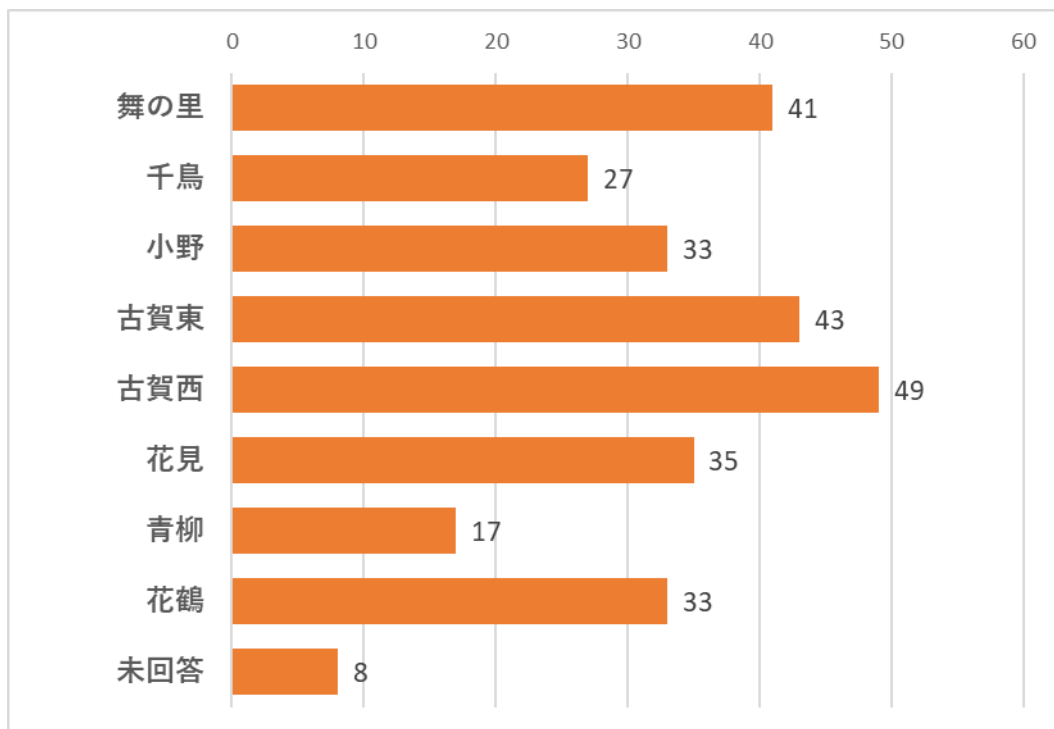
(2) あなたの年齢は



(3) あなたの職業は（複数ある場合は主なものを一つ）



(4) あなたが住んでいる小学校区は



(5) あなたは、古賀市にお住まいになって、何年ですか

